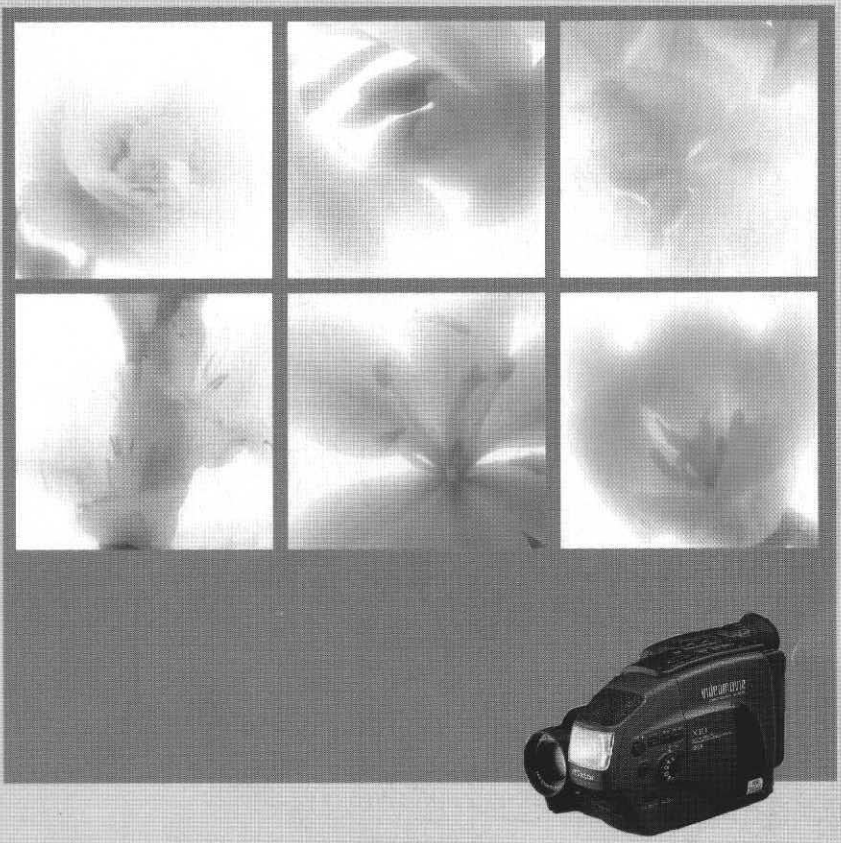
Victor

VHSビデオムービー

GR-AX55 VHS-C



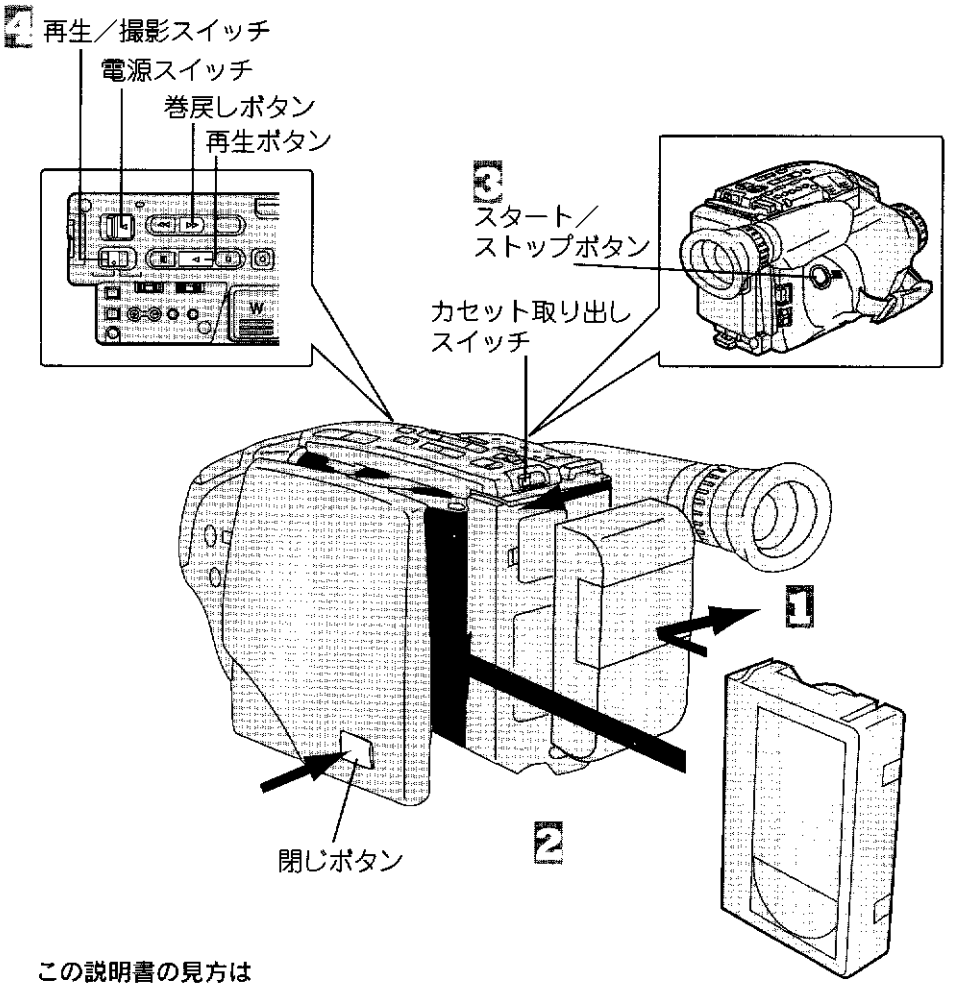
取扱説明書　お買い上げいただきありがとうございます。

●この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
●お読みになったあとは、再読できるよう保管してください。

私たちは環境・資源をたいせつにしています。
この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

いますぐ撮影したい

お買い求めの後、操作のご確認をしてください。



この説明書の見方は

（ 10 ～ 39 ）が準備と基本的な使い方です。基本編に慣れたら応用編（ 40 ～ 60 ）へと進みます。

ページを探すときは

もくじ（ 4 ～ 5 ）のタイトルは、主に‘どんな動作をしたいか’を表しています。

カタログなどに載っている機能名で探したいときは、用語の解説（ 72 ～ 73 ）でも知ることができます。

説明書に出てくるマークは

は知っていると便利な操作や説明です。

は正しくお使いいただくためのご注意です。

〈 ■ ページ〉はその数のページをあわせて参照ください。

1 電源の準備

バッテリーパックを充電し、ムービーに取り付ける（12 ページ）

2 テープを入れる

1 カセット取出しスイッチを矢印方向に押しカバーを開ける
2 テープを入れる
3 閉じボタンを押して、カバーを閉める

3 撮る

1 電源スイッチで電源を入れる
2 再生／撮影スイッチを“撮影”にする
3 スタート／ストップボタンを押す
- 撮影を始めます。
- もう一度押すと撮影一時停止になります。

4 見る

1 電源スイッチで電源を入れる
2 再生／撮影スイッチを“再生”にする
3 巻戻しボタンを押す
- テープの始めまで巻戻すと自動的に止まります。

4 再生ボタンを押す
- ビューファインダー内に映像が出ます。
- 再生をやめるには停止ボタンを押します。
- カセットアダプターC-P6（別売）を使うとムービーで撮影したテープをVHSビデオデッキで簡単に見ることができます。（30 ページ）

もくじ

ページ　タイトル

2 いますぐ撮影したい
6 各部のなまえ

基本編

10 準備

10 ●バッテリーパックを充電する
12 ●バッテリーパックを取り付ける
13 ●屋内でムービーを使用する
14 ●車のなかでムービーを使用する
15 ●ショルダーストラップを付ける
16 ●三脚（別売）を付ける
17 ●リチウム（時計用）電池を入れる
18 ●日時を合わせる
20 ●グリップバンドを調節する
21 ●ビューファインダーを調節する
22 ●テープを入れる

24 撮る

24 ●さあ、カメラ撮りです！
25 ●撮る姿勢
26 ●被写体が暗いとき(ライティング)
27 ●大きく撮りたいとき
28 ●すぐに撮り直すとき(リテイク)
29 ●途中から撮影する

30 見る

30 ●テレビで見る（ビデオデッキを利用して見る）
32 ●撮影したその場で見る
34 ●早送り／巻き戻し再生(高速再生)
35 ●同じ場面を見る(カウンターメモリー)
36 ●ビデオデッキにつなぐ（再生／編集／カメラ）
38 ●映像／音声入力端子のあるテレビで見る
39 ●映像／音声入力端子のないテレビで見る

応用編

40 テクニック

40 映像効果を出して撮る
42 フェードイン／アウト撮影
43 シネマモード撮影

応用編

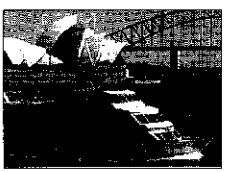
44 ピントを合わせる
46 白バランス調節
48 日時を入れて撮る
50 動きの速いものを撮る
51 セルフタイマーを使って撮る
52 編集する

54 別売リモコンを使って

54 ●リモコンRM-V20（別売）を使って
55 ●セルフタイマーを使って撮る
56 ●アニメ撮影
57 ●タイムラプス撮影
58 ●別売リモコンで編集する
60 ●見たいところの頭だしを簡単にする

その他

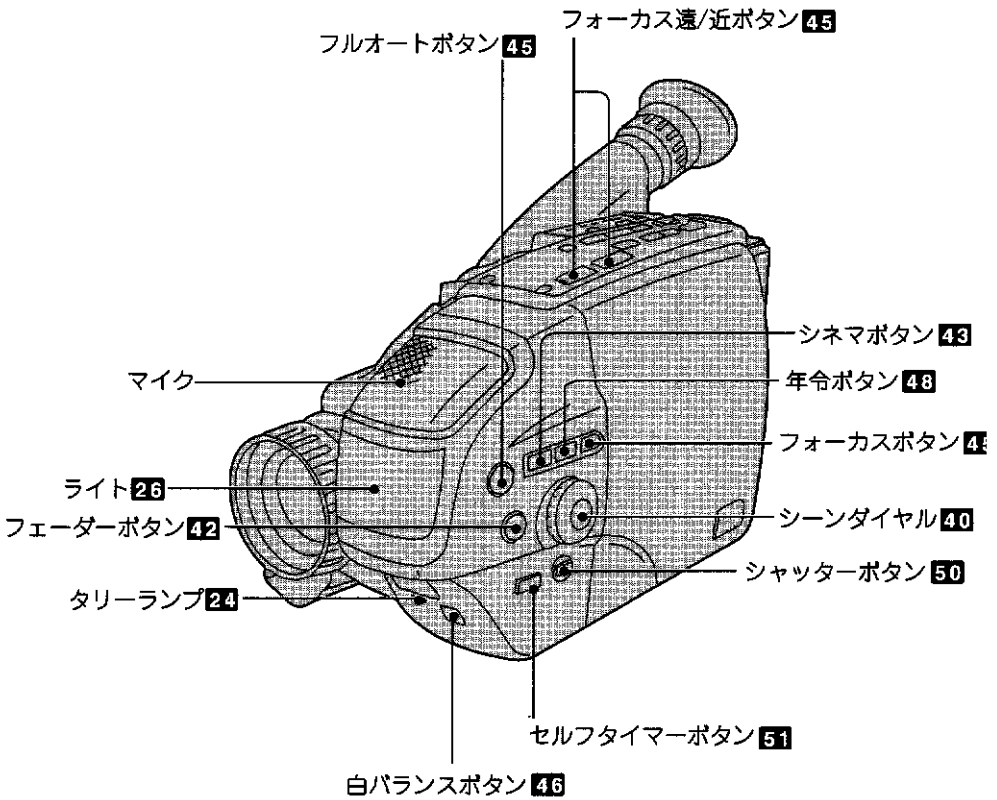
61 必ずお読みください
65 お手入れについて
66 保証とアフターサービスについて
67 故障かなと思う前に
70 海外でお使いになるには
72 用語の解説
74 主な仕様
75 ビューファインダーの表示

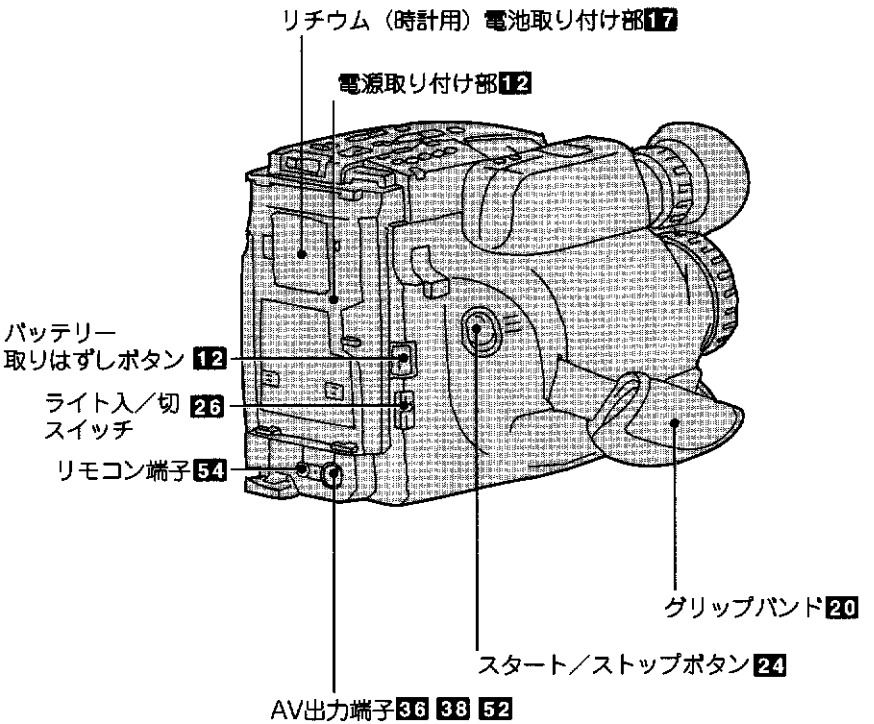


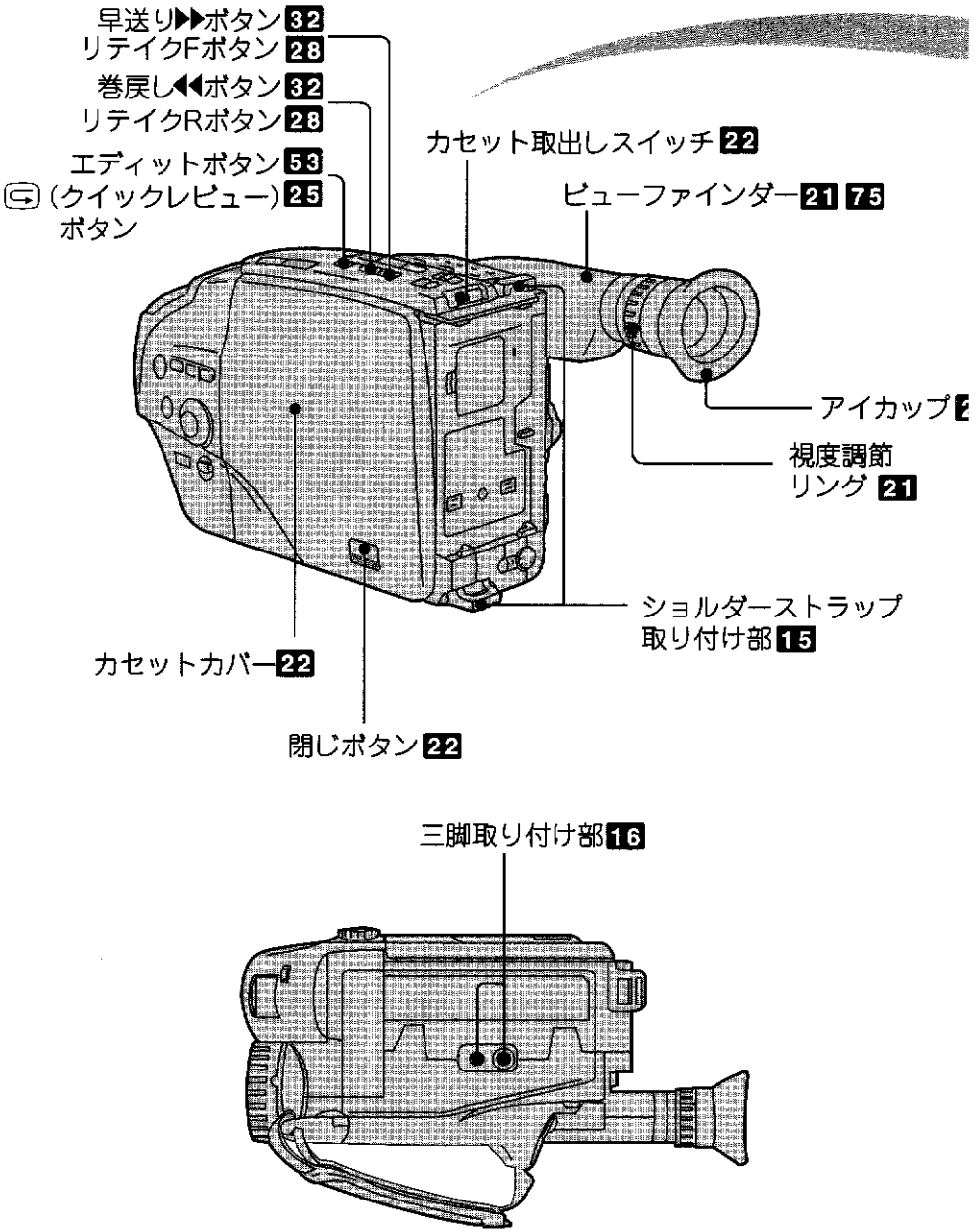
ご使用の前に知っておいてください

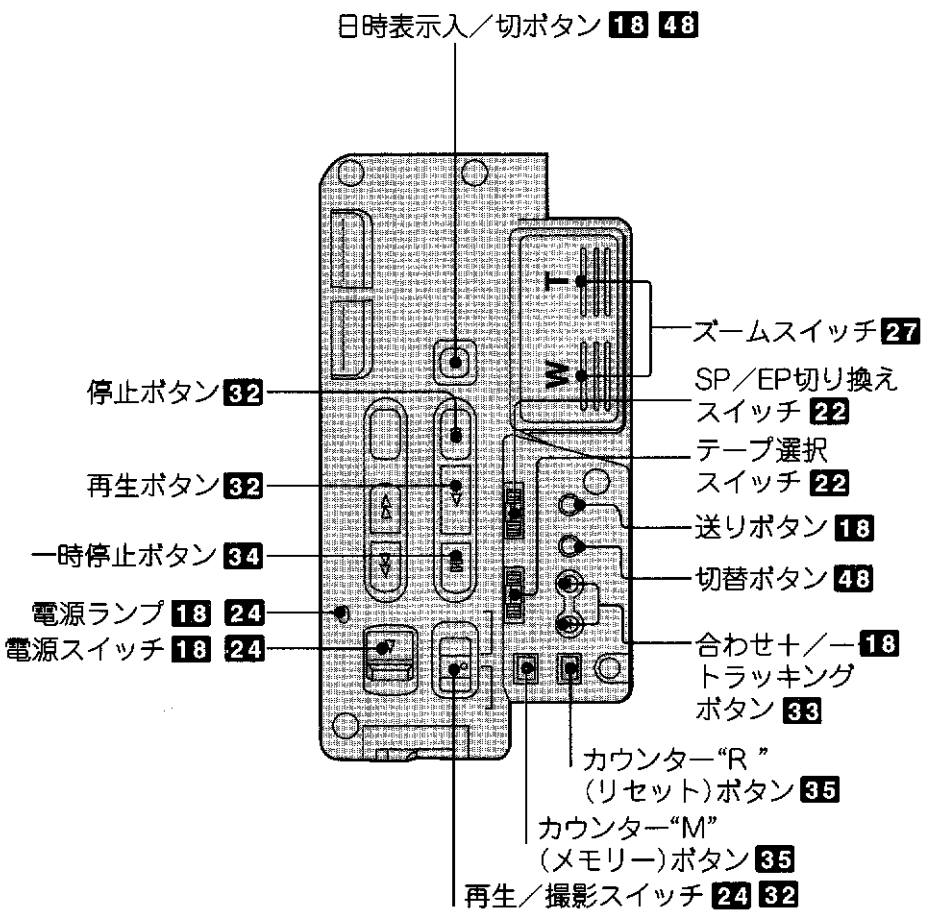
●大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
●万一、ムービーおよびテープ等の不具合により、正常に録画、録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
●このムービーはVHS方式です。コンパクトビデオテープ VHSC マークの付いたものをご使用ください。

各部のなまえ


フォーカス遠/近ボタン 45
フルオートボタン 45
シネマボタン 43
マイク
年令ボタン 48
フォーカスボタン 4
ライト 26
フェーダーボタン 42
シーンダイヤル 40
シャッターボタン 50
タリーランプ 24
セルフタイマーボタン 51
白バランスボタン 46

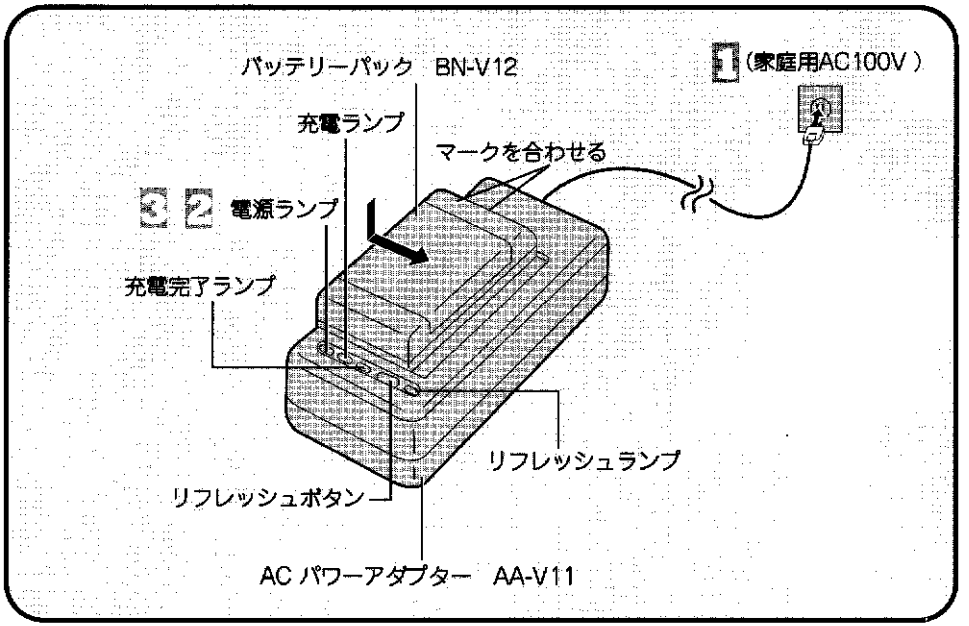

リチウム（時計用）電池取り付け部17
電源取り付け部12
バッテリー
取りはずしボタン 12
ライト入／切
スイッチ 26
リモコン端子54
グリップバンド20
スタート／ストップボタン24
AV出力端子36 38 52


早送り▶▶ボタン 32
リテイクFボタン 28
巻戻し◀◀ボタン 32
リテイクRボタン 28
エディットボタン 53
(クイックレビュー) 25
ボタン
カセット取出しスイッチ 22
ビューファインダー 21 75
アイカップ
視度調節
リング 21
ショルダーストラップ
取り付け部 15
カセットカバー 22
閉じボタン 22
三脚取り付け部 16


日時表示入／切ボタン 18 48
ズームスイッチ 27
停止ボタン 32
SP／EP切り換え
スイッチ 22
テープ選択
スイッチ 22
再生ボタン 32
送りボタン 18
一時停止ボタン 34
切替ボタン 48
電源ランプ 18 24
電源スイッチ 18 24
合わせ＋／－ 18
トラッキング
ボタン 33
カウンター"R"
(リセット)ボタン 35
カウンター"M"
(メモリー)ボタン 35
再生／撮影スイッチ 24 32

バッテリーパックを充電する

バッテリーパックを充電してムービーを屋外で使いましょう。
バッテリーパックは出荷時は充電されていません。



1 電源プラグをコンセントに差し込む

電源ランプが点灯します。

2 マークを合わせ、バッテリーパックを軽く押しつけ矢印の方向に突き当たるまですべらせる

充電ランプが点灯し、充電を始めます。

3 バッテリーパックを取り外すときは、取り付けと逆の手順でおこなう

電源プラグを抜きます。

バッテリーパックの充電／リフレッシュ時間の目安表

バッテリーパック	充電時間	リフレッシュ時間
BN-V12	約　７０分	約３時間３０分
BN-V14	約　８０分	約４時間３０分
BN-V22	約１３０分	約７時間
BN-V60	約１３０分	約７時間
BN-V50	約１７０分	約８時間３０分

- 上の時間はバッテリーパックを使い切ったときと、満充電時における目安です。
- 充電ランプが消え、充電完了ランプが点灯したら充電完了です。
- 撮影時間は 74 ページの主な仕様をご覧ください。

バッテリーパックをリフレッシュする

・**5回の充電に対して1回のリフレッシュが効果的**
バッテリーパックは、使いきらないまま充電すると、容量が少なくなります。
リフレッシュボタンでリフレッシュすると、バッテリーパックの容量が回復しますので、使用時間の改善ができます。

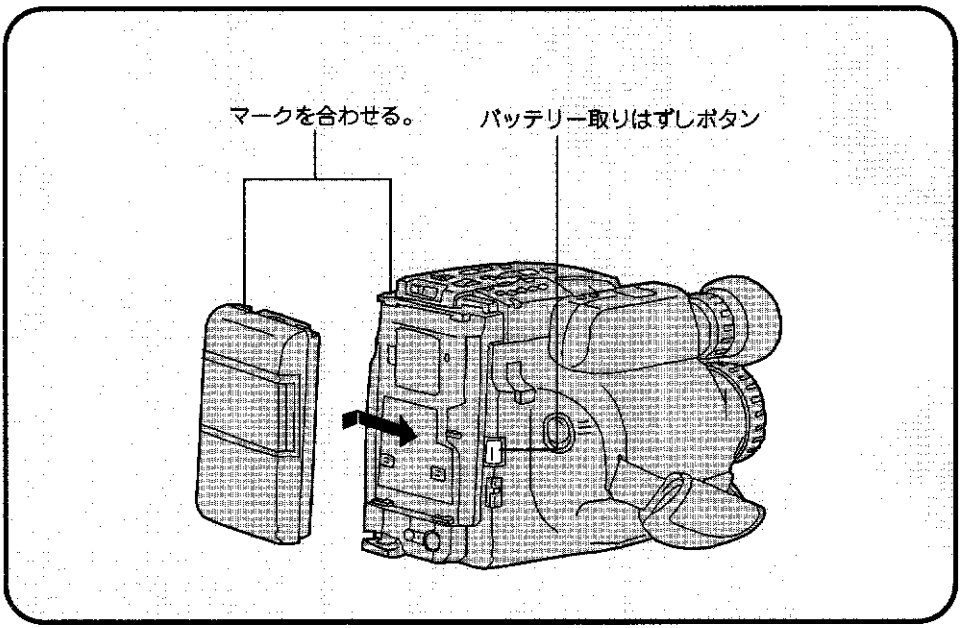
・**リフレッシュする**
リフレッシュボタンを押して下さい。
リフレッシュランプが点灯し、リフレッシュが始まります。リフレッシュが終了するとリフレッシュランプが消灯します。充電ランプが点灯し、充電を始めます。

・**充電しないでリフレッシュしたい**
電源プラグを差さずにリフレッシュボタンを押してください。
充電はされずに、リフレッシュだけがおこなわれます。

・**充電／リフレッシュ中のDCコード接続**
充電／リフレッシュ中にDCコードを接続するとムービーへ電源が供給され、充電／リフレッシュは中止されます。
（電源ランプは点灯しています。）

バッテリーパックを取り付ける

ムービーは電源（充電ずみバッテリーパック）が必要です。

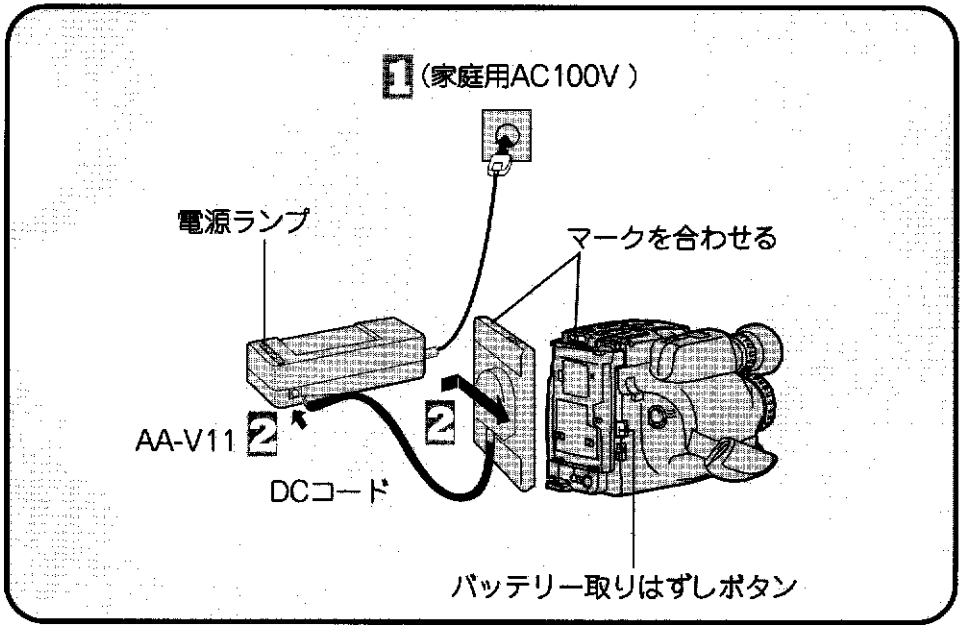


マークを合わせ、バッテリーパックを横にカチッというまですべらせる

取り外すときは、バッテリー取りはずしボタンを押しながら取り付けと逆方向にスライドさせる

屋内でムービーを使用する

ACパワーアダプターAA-V11は、付属のDCコードを使ってムービーに直接電源を供給します。



1 電源プラグをコンセントに差し込む

●電源ランプが点灯します。

2 AA－V11に付属のDCコードを差し込み、もう一方をムービーの電源取り付け部に取り付ける

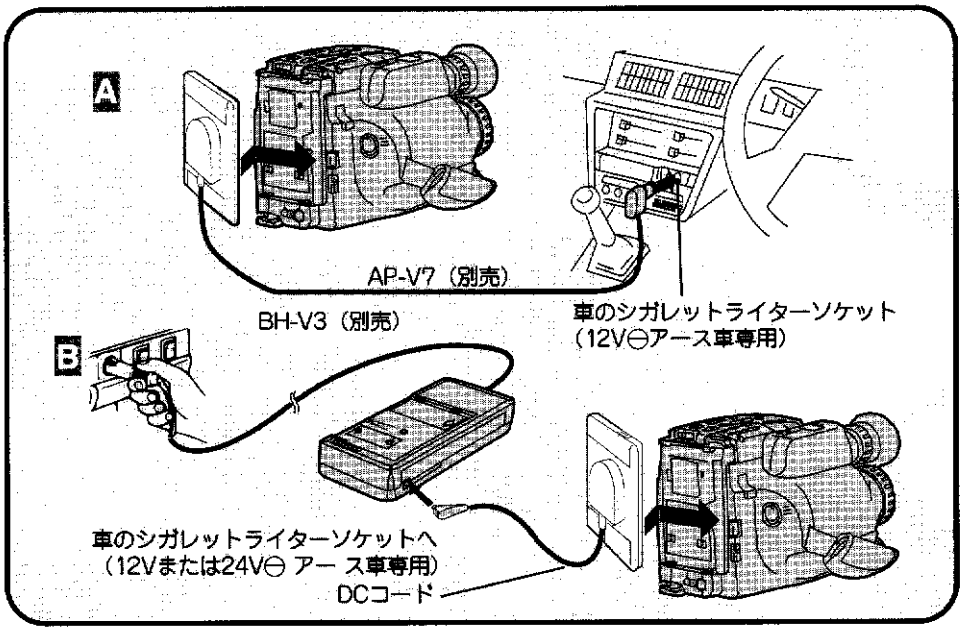
●これでムービーに電源が供給されます。

・**充電中にDCコードを接続**
バッテリーパック充電中にDCコードを接続するとムービーへ電源が供給され、充電は中止されます。

・**ムービー専用**
AA-V11はビクタームービー(6V入力)専用です。

車のなかでムービーを使用する

車のシガレットライターソケットを利用してムービーを使うことができます。



A カーバッテリーコードAP-V7（別売）で車のシガレットライターソケットを利用して電源供給ができます。

B カーバッテリーチャージャーBH-V3（別売）で、車のシガレットライターソケットを利用して電源供給と、バッテリーパックの充電ができます。

●AP-V7、BH-V3は日本車、米国車、欧州車対応です。

・充電中のDCコード接続
バッテリーパック充電中にDCコードを接続するとムービーへ電源が供給され、充電は中止されます。

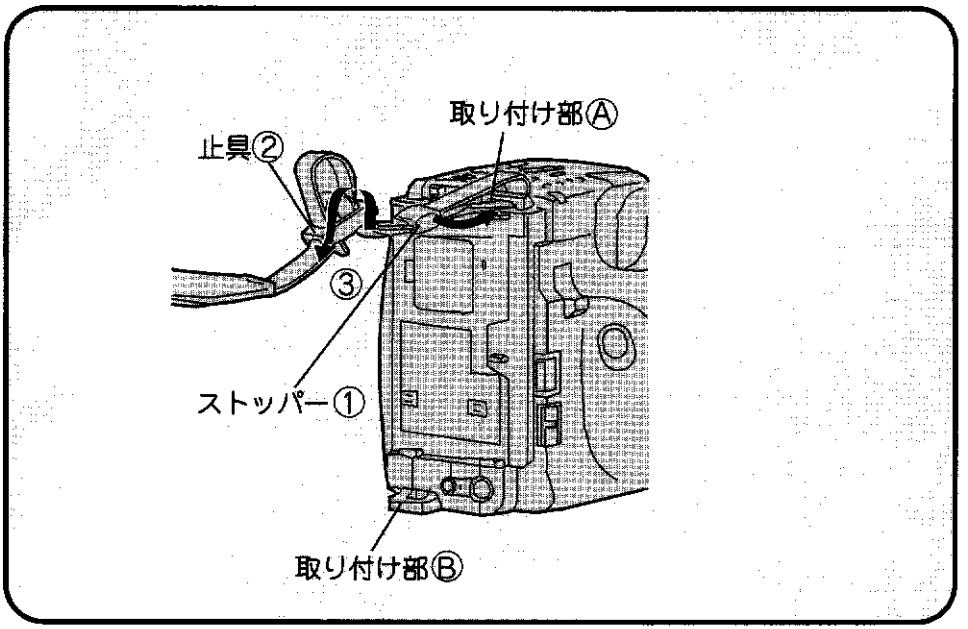
・使用できないバッテリーパック
BH-V3(別売)でバッテリーパックBN-V50(別売)の充電はできません。

・運転中の撮影禁止
運転者は運転中にムービーの操作はおこなわないでください。運転への注意が散漫となり非常に危険です。

・詳しく知りたい
AP-V7、BH-V3の取扱説明書をご覧ください。

ショルダーストラップを付ける

ショルダーストラップを使うと持ち運びに便利です。



1 ストラップをムービーの取り付け部Ⓐに通し、ストッパー①にも通す

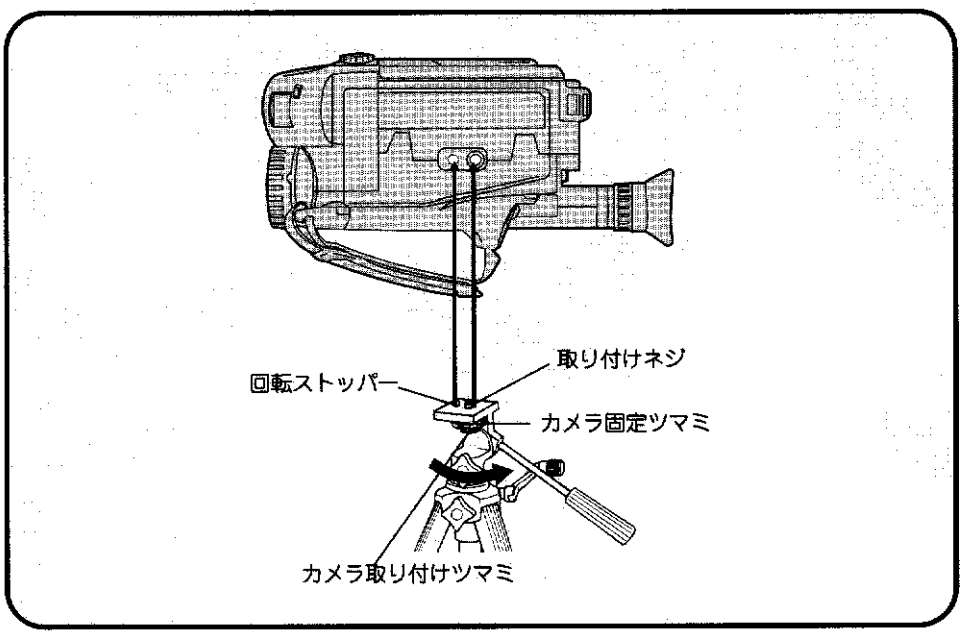
2 ストラップを止具②に通す

●ストラップを矢印方向③に引っ張り確実に取り付けられたか確認してください。

3 取り付け部Ⓑにも1と2の手順でストラップを通す

三脚（別売）を付ける

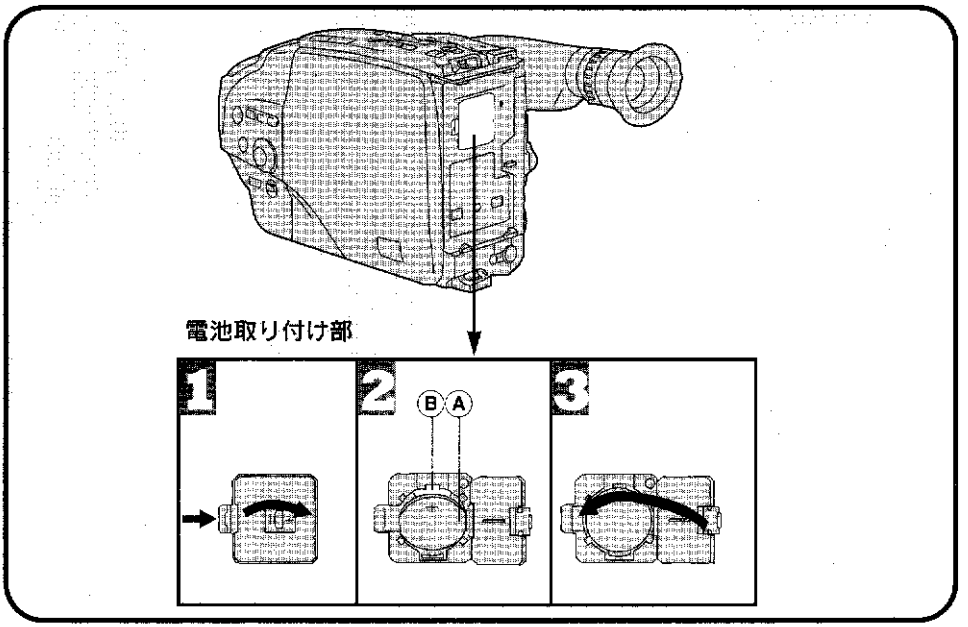
三脚を取り付ければ、手振れのない安定した画像で撮影できます。



三脚の回転ストッパーおよび取り付けネジをムービーに合わせ三脚のカメラ取り付けツマミを矢印方向に回して締めつけます

リチウム(時計用)電池を入れる

ムービーの日付、時刻、年齢／トラベルデートの記憶を保つために必要です。



1 取り付け部のフタを矢印方向に押しながら開ける

●必ず電源(バッテリーパックなど)を取り外してからおこなってください。

2 リチウム電池の⊕側が見えるように入れる

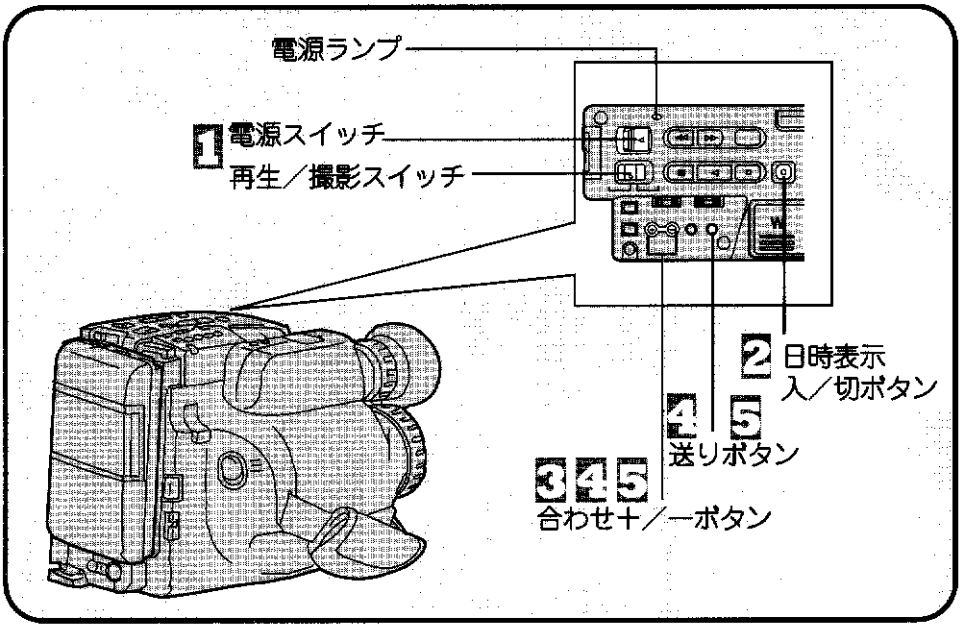
3 フタを矢印方向に閉める

・ご注意ください
電池は幼児の手の届かない所においてください。
★万一、飲み込んだ場合は直ちに医師と相談してください。
治療方法についてのお問い合わせは
(財) 日本中毒情報センター
つくば中毒１１０番　TEL 0298-52-9999
大阪中毒１１０番　TEL 06-871-9999

・リチウム電池を取り外す
Ⓐのところを押して取り外してください。
取りづらい時は、先の細い金属以外（プラスチックなど）のものをⒷ(上部の穴）に差し込んで取り出してください。
・気を付けて
リチウム電池の注意文もよくお読みください。(63 ページ)

日時を合わせる

撮影中に日時をテープに記録できます。年齢／トラベルデートは２人分の誕生日（2つ分の出発日）を入れることができます。

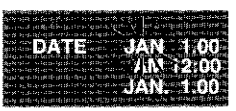


1 再生／撮影スイッチを‘撮影’にし、電源スイッチで電源を入れる

●電源ランプが点灯します。

2 日時表示入／切ボタンを押す

●表示が出ます。



3 月を合わせる
合わせ＋／－ボタンで月を合わせる

●（例えば、現在時刻1993年10月10日午後3時で、子供の誕生日は同じ年の10月1日と、1990年6月11日の2人のときは）

・月の表示は

1月	JAN	7月	JUL
2月	FEB	8月	AUG
3月	MAR	9月	SEP
4月	APR	10月	OCT
5月	MAY	11月	NOV
6月	JUN	12月	DEC

・日付の表示は

日付の年月日を月・日・年で表示します。

例　1993年10月10日
↓
OCT 10, 93

4 日→年→時→分を合わせる 送りボタンを押し点滅したところを合わせ＋／－ボタンで合わせる

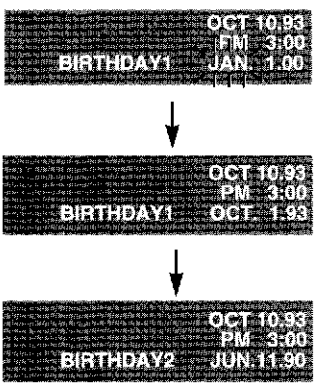
●年は西暦下２ケタの数字を合わせます。
（例　1993→93）

●分を合わせ、送りボタンを押すと時計がスタートします。

5 誕生日または出発日を合わせる 送りボタンを押し点滅したところを合わせ＋／－ボタンで合わせる

●誕生日1／出発日１、誕生日2／出発日２を合わせ、送りボタンを押すと日付・時刻・年齢／出発日の設定が終了します。日付・時刻・年齢／出発日１，２を約３秒間表示し、日付表示にかわります。

●AM12:00は午前０時
PM12:00は正午を表わします。



・**年齢表示は**
1ヵ月未満→1D～31D（トラベルデート併用）
1ヵ月以上、1才未満→1M～11M
1才以上、7才未満→1Y0M～6Y11M
7才以上、99才まで→7Y～99Y
を表示します。

・**設定したのに記憶されていない**
ムービーにリチウム電池を入れていないと、せっかく設定した日付、時刻、年齢／トラベルデートが記憶されません。一度、合わせると電源（バッテリーパックなど）を外してもリチウム電池がなくらないかぎり作動します。

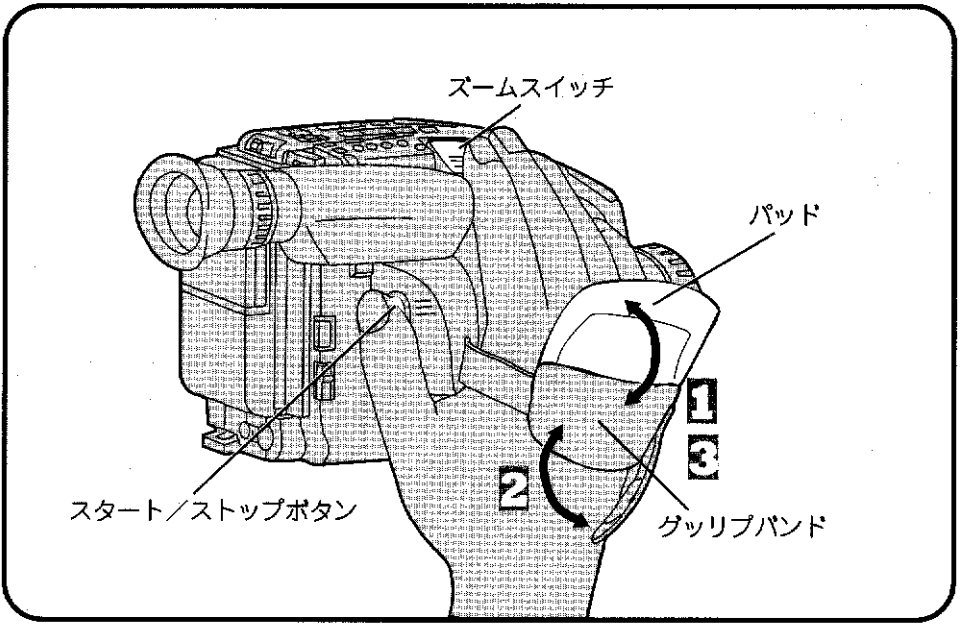
・**合わせ直すときは**
日時表示入／切ボタンを押して表示を出し、送りボタンを押して修正するところを点滅させ合わせ直してください。終了後は日付、時刻、年齢を約３秒間表示し、合わせる前の表示モードにかわります。

・**年齢／トラベルデートを合わせないとき**
年齢／トラベルデート（誕生日／出発日）を片方、または両方とも合わせないときは、4を合わせた後、5 の月、日、年を合わせている途中に、モードボタンを押します。合わせなかった年齢／トラベルデートは“－－－”と表示されます。

・**表示を出して撮影するには**
48 ～ 49 ページを見て、お好みの表示を出して撮影してください。

グリップバンドを調節する

グリップバンドを調節すると、安定したカメラ撮りができます。



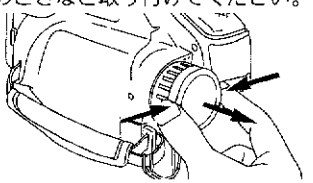
1 パッドを外す

2 ムービーをしっかり持てるようにグリップバンドを調節する

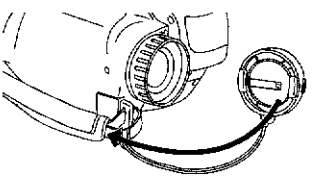
3 パッドをはり付ける

・**調節のポイント**
ズームスイッチとスタート／ストップボタンが操作しやすいように指を置いてください。安定したカメラ撮りができます。

・**レンズキャップは**
ムービーのレンズを保護します。持ち運びのときなど取り付けてください。

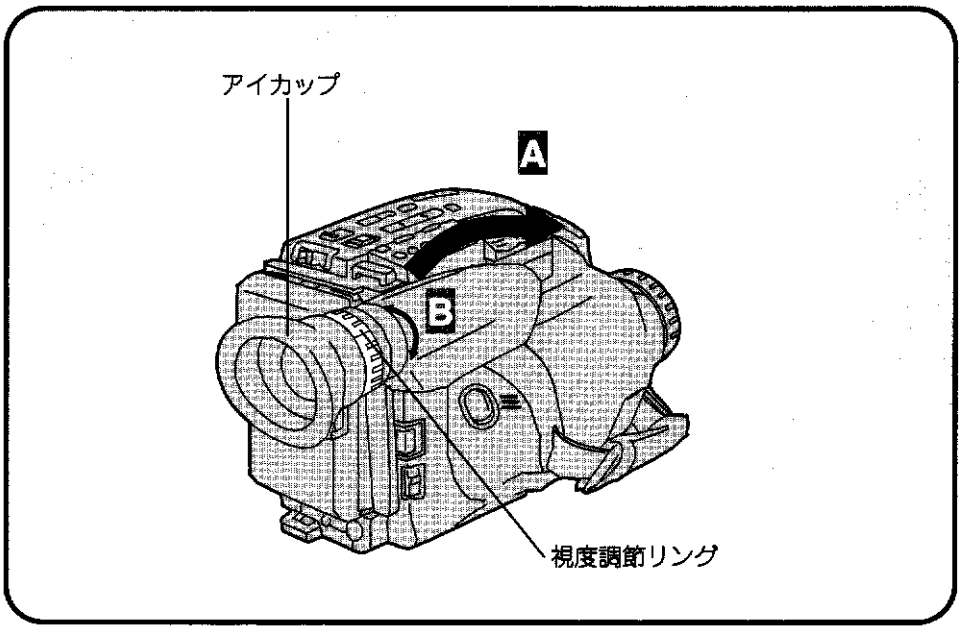


・**撮影中のレンズキャップは**
撮影中はレンズキャップをバンドに差し込んでください。
裏側の中央部をグリップバンドに差し込みます。



ビューファインダーを調節する

ビューファインダー内の画面が見やすいように調節します。



A 見やすい角度に調節する

●180 ° 調節できます。

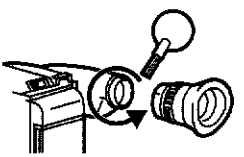
B ビューファインダー内の画面がハッキリ見えるように調節する

●再生／撮影スイッチを‘撮影’にし、電源を入れビューファインダー内の表示がはっきり見えるように視度調節リングを回して調節します。

・アイカップは取り外して清掃できます

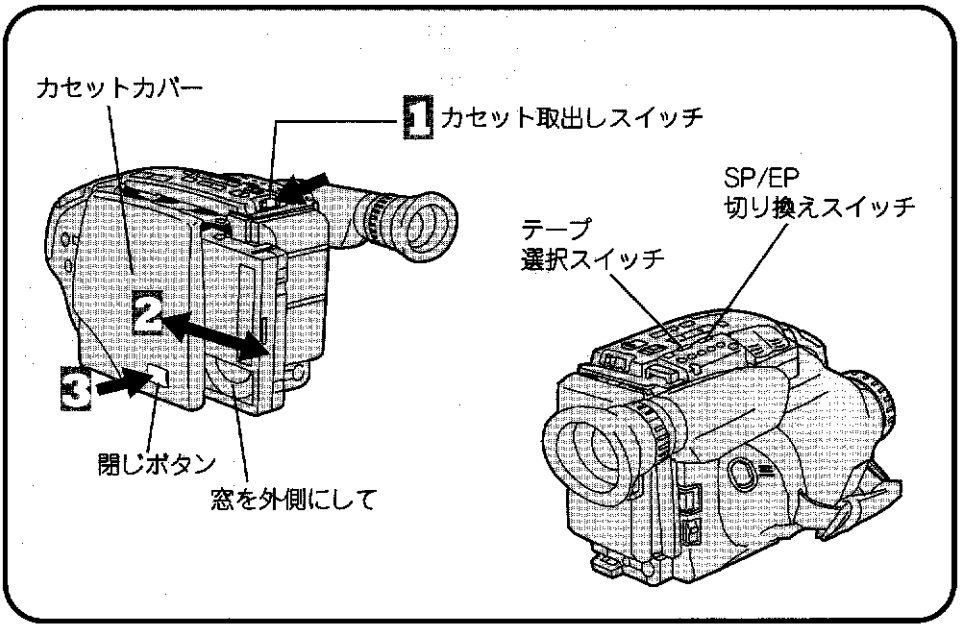
ゴミやホコリは、カメラ用ブロアー（カメラ店等で市販のもの）などで清掃してください。

左に回し引く。



テープを入れる

きちんとした撮影をおこなうために、撮影前におこなってください。



1 カセット取出しスイッチを矢印の方向に押す

●電源（バッテリーパックなど）をつないでから押します。
●カセットカバーが開きます。

2 カセットテープを入れる

●奥まで確実に入れてください。

3 閉じボタンを押して、カセットカバーを閉める

●カチッと音がします。

・テープ残量表示について

使用するテープにテープ選択スイッチを合わせる

●30分テープの場合→30
●20分テープの場合→20

・テープの録画モードについて

お好みの録画モードを選ぶ

SP（標準モード）

●画質と音質を重視するときや、後で編集（ダビング）するときにおすすめします。

EP（3倍モード）

●テープを経済的に使いたいときにおすすめします。
（撮影時間がSP時の3倍になります。）

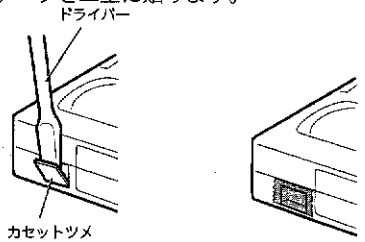
・録画モードの表示

撮影中、ビューファインダー内にテープの残り時間の目安と選んだ録画モードを表示します。
30分テープをEPモードで撮影した場合

→89 MIN ┈┈→ 3 MIN→ 2 MIN → 1 MIN → 0 MIN

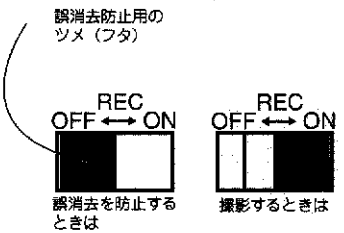
・テープが終わると、ビューファインダー内に "TAPE END" を表示します。

・カセットには誤消去防止用のツメがついています。これが折れていると撮影できません。
再び撮影するときは、ツメの部分にセロハンテープを二重に貼ります。



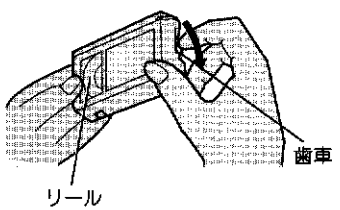
誤って大切な記録を消さないためには“ツメ”を折ります

・'ツメ' の部分がスライド式の場合は



・テープの確認

テープのたるみは、テープを傷める原因になります。ご使用前にリールが一緒に動くまで歯車を矢印方向に回してたるみをなくしてください。



・再生画像が乱れる

1本のテープ内で録画モードを切り替えると、その部分で再生画像が乱れます。

・VHSビデオで再生できない

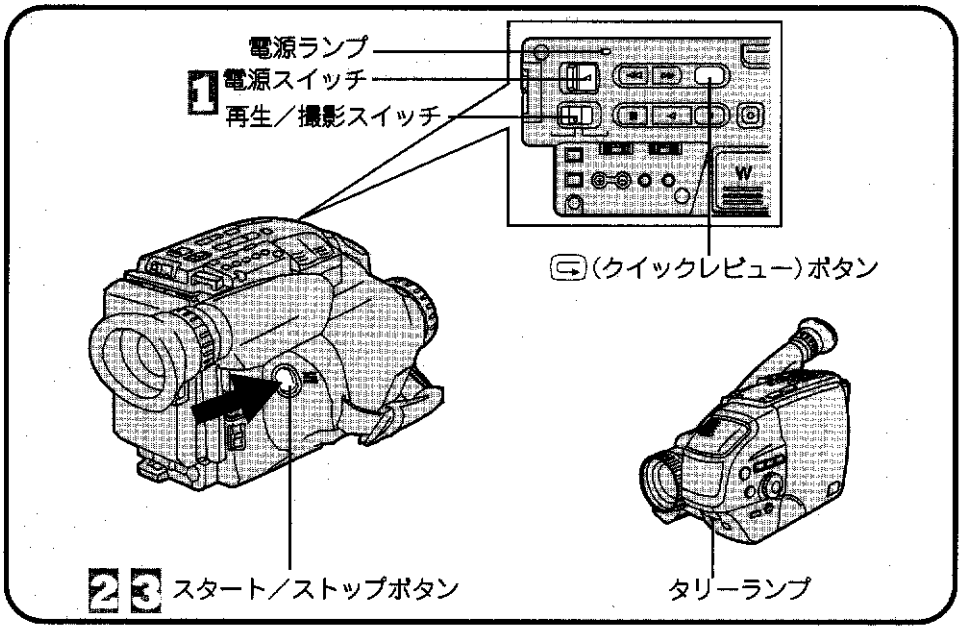
EP（3倍）モードで録画したテープは、標準専用VHSビデオでは、再生できませんのでご注意ください。

・カセットテープの出し入れ

カセットテープの出し入れだけを繰り返さないでください。テープがたるみ傷つくことがあります。

さあ、カメラ撮りです！

準備（10 ページ～）をしてから撮影します。



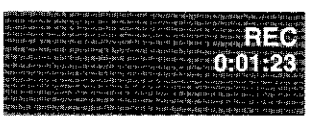
1 再生／撮影スイッチを“撮影”にし、電源スイッチで電源を入れる

- 電源ランプが点灯します。
- 録画一時停止になります。

ビューファインダー内

2 スタート／ストップボタンを押す

- 撮影が始まります。
- タリーランプが点灯します。

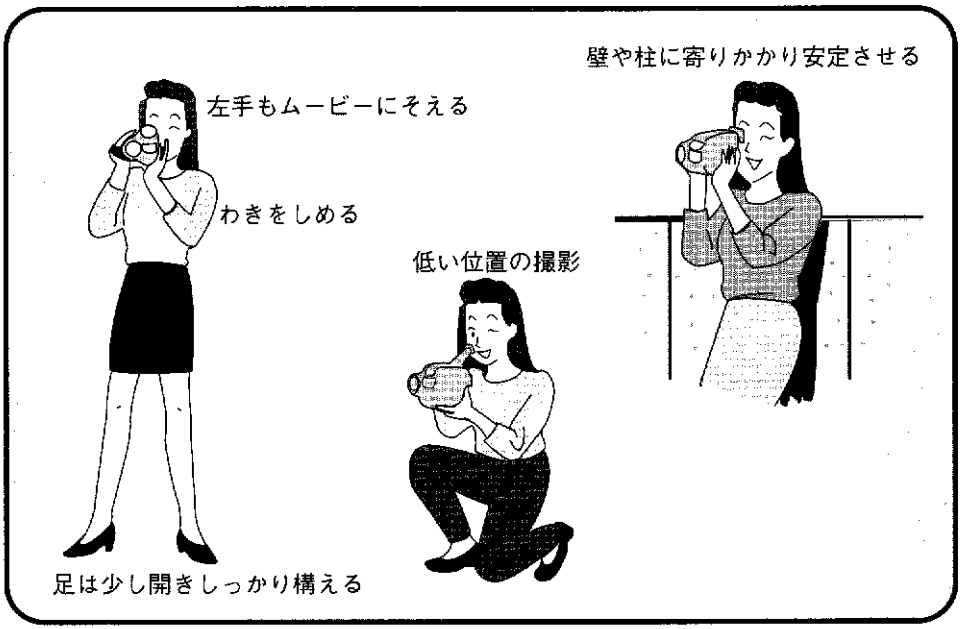


3 撮影を中断／終了するときはスタート／ストップボタンを押す

- 撮影一時停止になります。
- 2 と 3 の操作を繰り返して撮影をおこないます。
- 録画を終了するときは録画一時停止にして、電源スイッチを押し電源を切ります。

撮る姿勢

より安定した撮影のために



・撮影一時停止とは

再生／撮影スイッチを撮影側にしてツメつき（スライド式のツメの場合はON）テープを入れた撮影準備状態のことです。

・撮影準備中、電源が切れたら

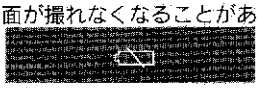
撮影一時停止を約5分以上続けると、節電のため自動的に電源が切れます。
電源スイッチで電源を入れると、再び撮影一時停止になり、次の撮影がきれいにつながります。

・撮影の確認（クイックレビュー）

撮影一時停止で⊟（クイックレビュー）ボタンをポンと押すと、最後のシーンを約2秒間再生し撮影ができているか確認できます。確認が終わるときれいにつなぎ撮りのできるように、もとの位置に戻って撮影一時停止になります。

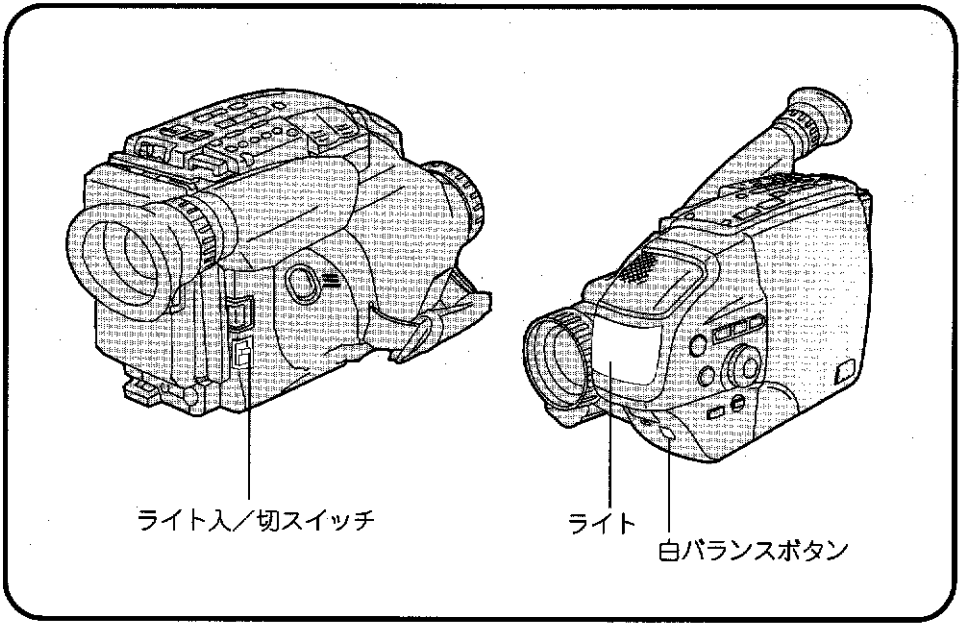
・バッテリーアラームが出たら

バッテリーパックの充電容量が少なくなってきています。充電したものと交換してください。撮影一時停止にし電源スイッチで電源を切り、充電したバッテリーパックに交換し、再び電源スイッチで電源を入れつなぎ撮りをします。もし、バッテリーアラームが出ても撮影を続けたら、急に電源が切れ撮りたい場面が撮れなくなることがあります。



被写体が暗いとき（ライティング）

被写体が暗いときなどに、ライトで照明すると顔の輪郭や表情などがはっきりして、より美しい撮影ができます。



ライト入／切スイッチを‘入’にする

●ライトを消灯させる時はライト入／切スイッチを‘切’にします。

・**ライトは熱くなります**
点灯中や消灯直後、ライトは熱くなり危険です。ライトにふれたり物を近づけたりすると、やけど、変形の原因になりますのでおやめください。

・**直接ライトを見ないで**
小さなお子様の目などに、ライトの光が長時間入らないよう注意してください。

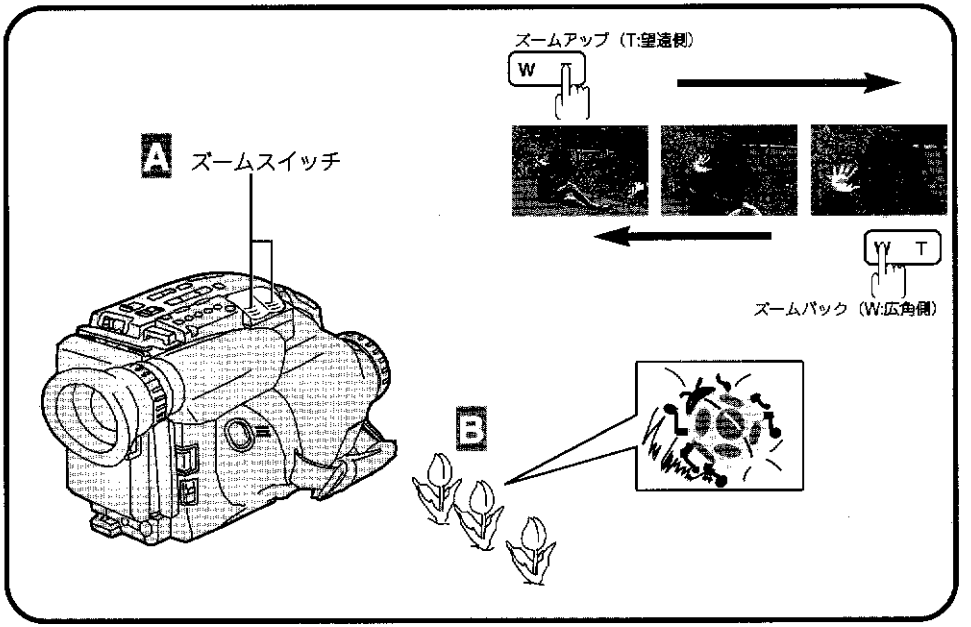
・**点灯中の注意**
点灯中は水や湿気をさけてください。ランプや耐熱ガラスが破損することがあります。

・**バッテリーを長持ちさせるために**
ランプやバッテリーを長持ちさせるためにも撮影しないときは消灯するよう心がけてください。

・**ランプの交換**
ランプの交換については、65 ページをご覧ください。

大きく撮りたいとき

ズームスイッチで映像に変化をつけることができます



A ズーミング

ズームスイッチで被写体のズームアップ／ズームバックができます。

・手動でピントを合わせるとき
マクロ撮影時に、手動でピントを合わせるときも広角側にしてください。

B マクロ（接写）

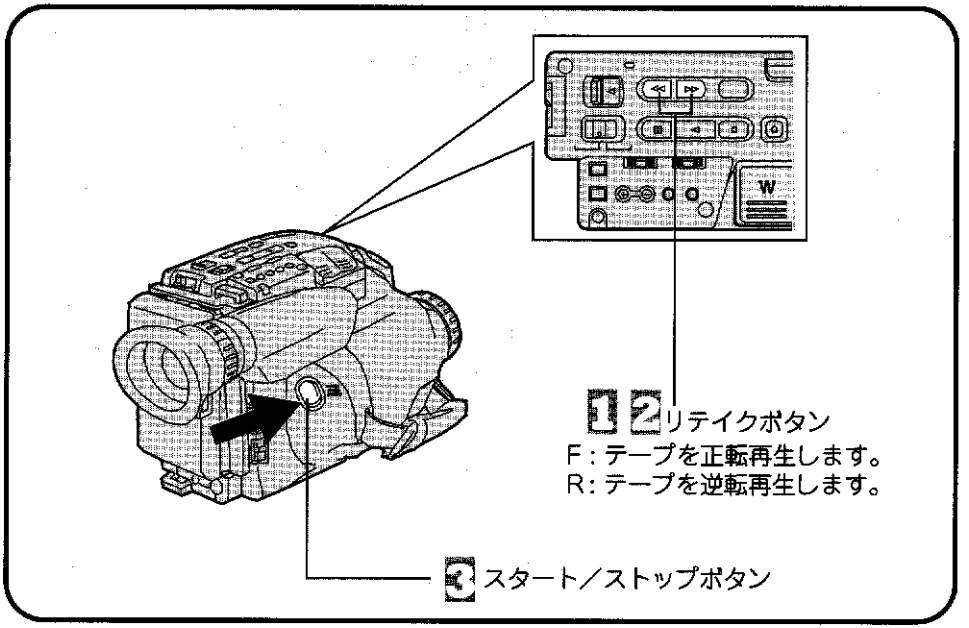
広角側でレンズ前面から約1.5cm まで接写できます。ズームを広角（W）にし、被写体に近づき撮影したいものを画面の中央に入れる

・ズームは望遠側に
電源（バッテリーパックなど）を取り付けて、最初に電源スイッチを入れたときに、ズームは望遠側になっています。

・マクロ撮影時の明るさ
マクロ撮影をおこなうと、明るさが不足になりがちです。まわりの明るさにご注意ください。

すぐに撮り直すとき（リテイク）

撮影中、失敗したなと思ったときなどボタン1つで撮り直したいところを探せます。



1 撮影一時停止でリテイク‘R’か‘F’ボタンを押し続ける

●ビューファインダー内で撮り直し箇所を探します。

2 撮り直したいところでボタンから指を離す

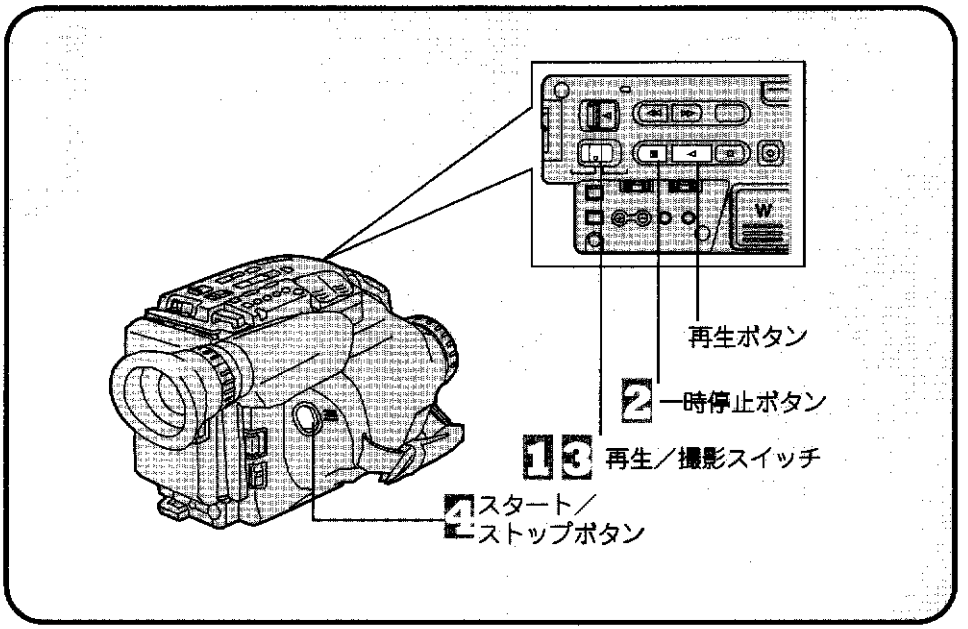
●撮影一時停止に戻ります。

3 スタート／ストップボタンで新たに撮影を始める

・**リテイク中の映像の乱れ**
リテイク中、映像が乱れることがありますが故障ではありません。

途中から撮影する

録画済みカセットテープの途中から、きれいにつなぎ撮りすることができます。



1 再生／撮影スイッチを‘再生’にし、再生してつなぎ撮りしたいところを探す

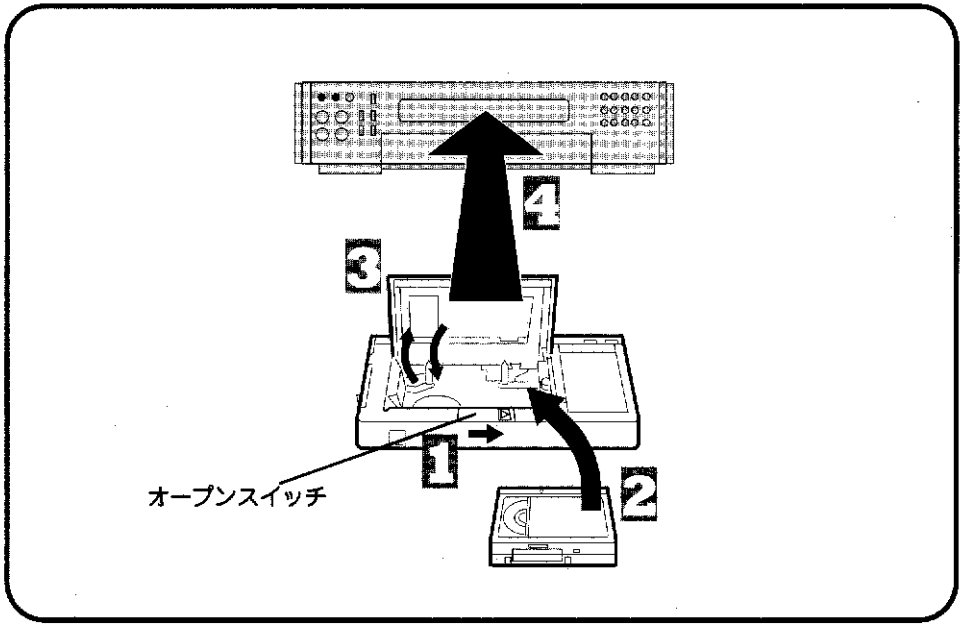
2 つなぎ撮りしたいところで一時停止ボタンを押す

3 再生／撮影スイッチを‘撮影’にする

4 スタート／ストップボタンで新たに撮影を始める

テレビで見る(ビデオデッキを利用して見る)

別売のカセットアダプター（C-P6）を使うと、VHSまたはS-VHS方式ビデオデッキで見ることができます。



1 オープンスイッチを矢印方向にスライドさせる

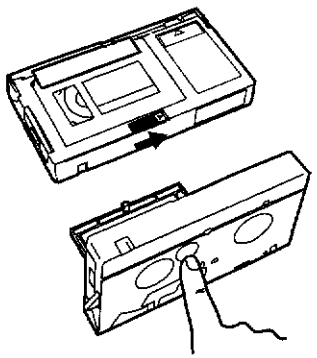
2 録画済みカセットテープを入れる

3 フタをしっかり閉じる

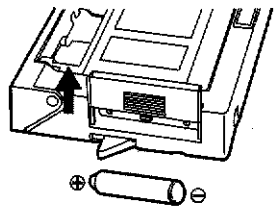
4 ビデオデッキに入れ再生する

・その他の見かた（36〜39ページ）
ムービーとテレビを直接つないで見ることができます。
ムービーとテレビとビデオデッキをつないで見ることができます。

カセットの出し方



電池の入れ方



カセットの出し方

1 オープンスイッチを矢印方向にすべらす

2 カセットを取り出す

●底面からカセットを押すと取り出しやすくなります。

電池の入れ方

1 バッテリーカバーを開ける

2 単3乾電池を入れる

●カセットアダプターは単3乾電池が入っていないと使用できません。

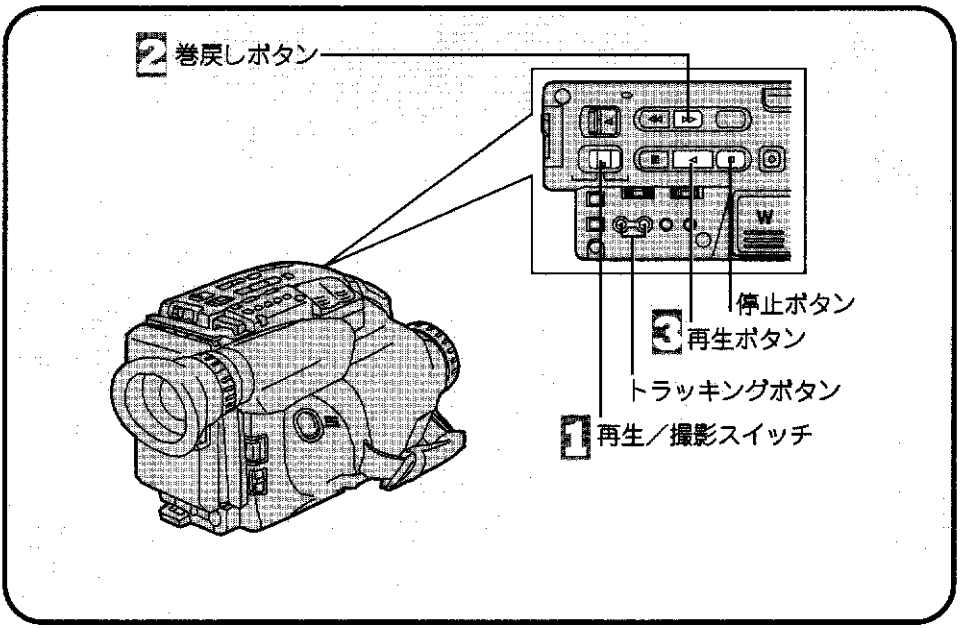
・**カセットアダプターを使用したとき**
再生するデッキによっては、録画した最初の部分がかけることがあります。

・**電池の消耗**
テープを出すときに、カセットアダプターの動きが悪くなってきたら、電池が消耗してきています。新しい単3乾電池(UM-3型)のプラス(+)とマイナス(−)の向きを間違えないで、交換してください。

・**取り扱いを詳しく知りたい**
カセットアダプターの取り扱い説明書をご覧ください。

撮影したその場で見る

撮影した映像をビューファインダー内で見ることができます。



1 再生／撮影スイッチを‘再生’にする

2 巻戻しボタンを軽くポンと押す

●テープのはじめまで巻き戻すと自動的に停止します。

3 再生ボタンを押す

●ビューファインダー内で見ることができます。

●再生をやめるには停止ボタンを押す

画面にノイズが出てきたら

再生中、画面にノイズが出てきたら、トラッキングの手動調節が必要です。

●再生中、トラッキングボタン'＋'または'－'でノイズがなくなるように調節する

カセットテープの早送り／巻戻し

停止ボタンを押してから早送りボタンまたは巻戻しボタンを押す

●素早く早送り、巻き戻しをしたいときは早送り／巻戻しボタンをしばらく押します。(このとき、カウンターは－:－－:－－になり、次に使うときは0:00:00になります。カウンターメモリーは使えません。)(35 ページ)

●テープの最後まで早送りや巻き戻しすると自動的に停止します。

・**もとの状態に戻す**
トラッキングをする前の状態に戻すときは、トラッキング（＋／－）を同時に押してください。

・**十分に調節できない**
他のビデオで録画されたテープは十分に調節できないことがあります。

・**急に電源が切れた！**
停止状態が約5分以上続くと、電力の消費をおさえるため自動的に電源が切れます。再びご使用になるには、電源を入れてください。

・**テープの走行量を時間で確認できます。**

途中で0:00:00に戻すにはカウンター"R"(リセット)ボタンを押してください。

●カウンター値は無記録部分では変わりません。

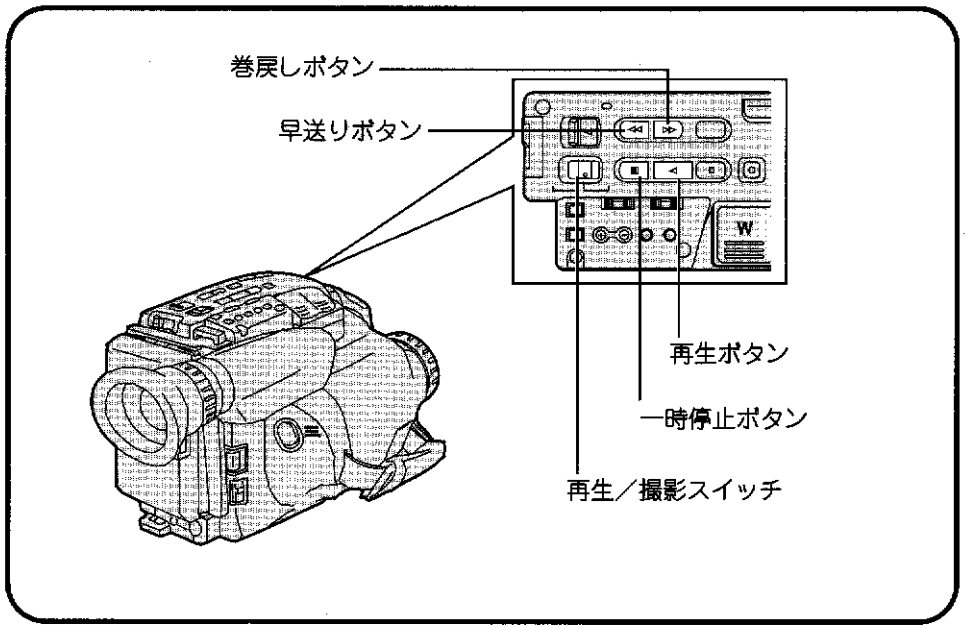
●テープの取り出しで0:00:00になります。

●0:00:00を越えて巻き戻すとーが表示されます。

●カウンターメモリーしておくと早送り／巻き戻しのとき M0:00:00の近くで止ります。

早送り再生／巻き戻し再生(高速再生)

再生中に早送り／巻き戻しをして、見たいシーンを素早く探せます。



1 再生中に早送りボタンまたは巻戻しボタンを押しつづける

●高速で再生します。
SP（標準）⇒ 3倍速
EP（3倍）⇒ 7倍速

2 見たい場面になったらボタンから指を離す

●通常再生になります。

・**もう一つの高速再生**
ボタンを押しつづけないで、ポンと一度押すと指を離しても高速再生します。見たいシーンになったら再生ボタンを押します。

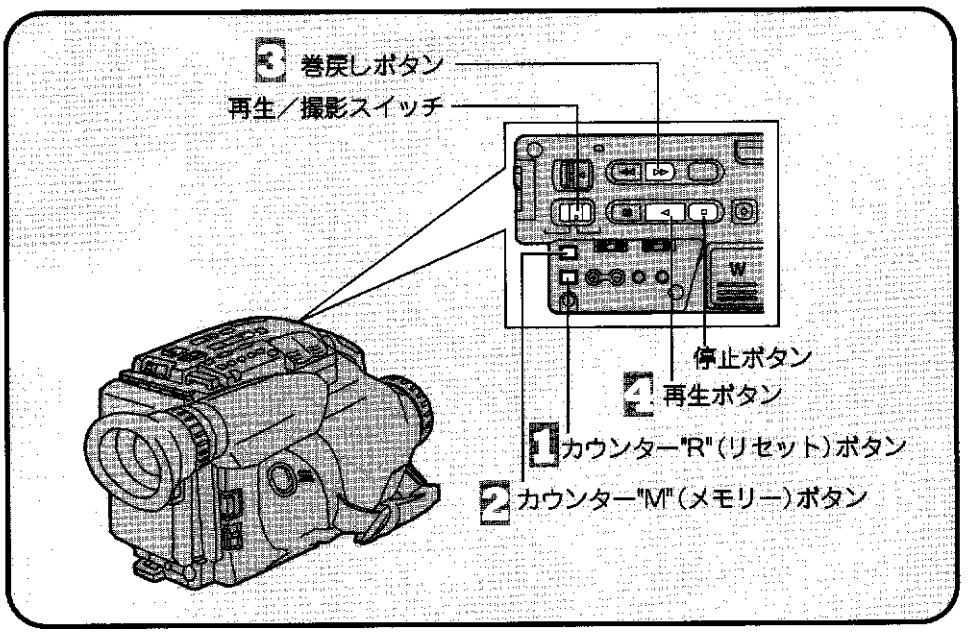
・**再生画を止めて見るには**
再生中に一時停止ボタンを押します。静止画再生になります。
通常再生に戻すには、再生ボタンを押してください。

・高速再生／静止画再生中画面にノイズがでますが故障ではありません。特にSP(標準)モードの場合は多くなります。
また、音声はでません。

・**急に電源が切れた！**
一時停止が約５分以上続くと、テープ保護のために停止し、電源が切れます。
再びご使用になるには電源を入れ直してください。

同じ場面を見る（カウンターメモリー）

再生を始めたいところで、巻き戻し／早送りを自動的に止めるとき



1 繰り返し見たい場面のはじめで、カウンター"R"(リセット)ボタンを押す

●カウンター表示が0:00:00 になります。

2 カウンター"M"(メモリー)ボタンを押す

●ビューファインダー内に 'M' が表示されます。

3 テープを停止させて、巻戻しボタンを軽くポンと押す

●カウンターがM0:00:00付近で自動的に止まります。
(早送り時にも使えます。)

4 再生ボタンを押す

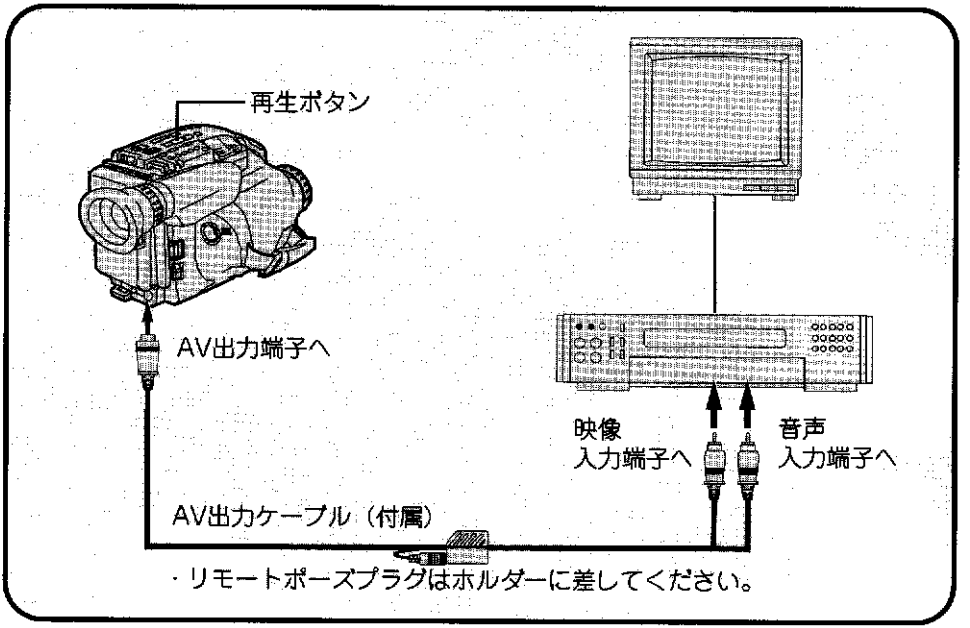
●再生が始まります。
●カウンターメモリーをやめるときはカウンター"M"(メモリー)ボタンを押してください。

・**カウンターが0:00:00になってしまった**
テープの出し入れをするとカウンターは"0:00:00"に戻ります。また、撮影開始のときカウンターが"M0:00:00"になっていると巻き戻すとき撮影開始のところまで簡単に戻せます。

・**カウンターメモリーがはたらかない**
早送り／巻戻しボタンを押したとき、カウンターが－:－－:－－になったらカウンターメモリーははたらきません。このときは、テープを停止させてください。(カウンターは、0:00:00になります。)このようなときは、もう一度1からの操作をおこなってください。

ビデオデッキにつなぐ(再生／編集／カメラ)

再生や編集、またムービーをカメラとして使うときの接続のしかたです。ご家庭のテレビやデッキによって仕様が違いますので、その取扱説明書もお読みください。



ムービーとデッキをつなぐ

デッキの入力を外部入力モードにする

1 ムービーとデッキ、テレビの電源を入れる
2 テレビはいつもビデオを見ているようにスイッチを設定する
3 デッキの入力を外部入力にする
（37 ページ）

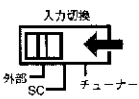
A 再生をするとき（32 ページ）

B 編集をするとき
（52 ～ 53 ページ）

ビデオデッキを外部入力にするには

デッキによって違いますので、お使いになるデッキの取扱説明書と下の例を見ながらおこなってください。
（ムービーからの映像と音声が出たら終了です。）

例1　スライドスイッチで切り替えるタイプ

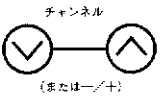


スイッチを切り替える

例2　入力切り替えボタンのタイプ

外部入力表示（ビデオ1、ビデオ2、ムービーなど）をボタンを押して選ぶ

例3　チャンネルボタンで切り替えるタイプ



外部入力表示（L1、AV、AU、0など）が出るまで押す

C ムービーをカメラとして、デッキで記録するとき

1 ムービーはカメラリハーサル状態にする（テープは取り出してください）

・**カメラリハーサル**
テープを入れずに再生／撮影スイッチを撮影側にし、電源を入れるとカメラの映像を見ることができます。（カメラリハーサル状態）この状態にしておくと、外部入力になったときテレビにムービーからの映像と音声が出てきます。

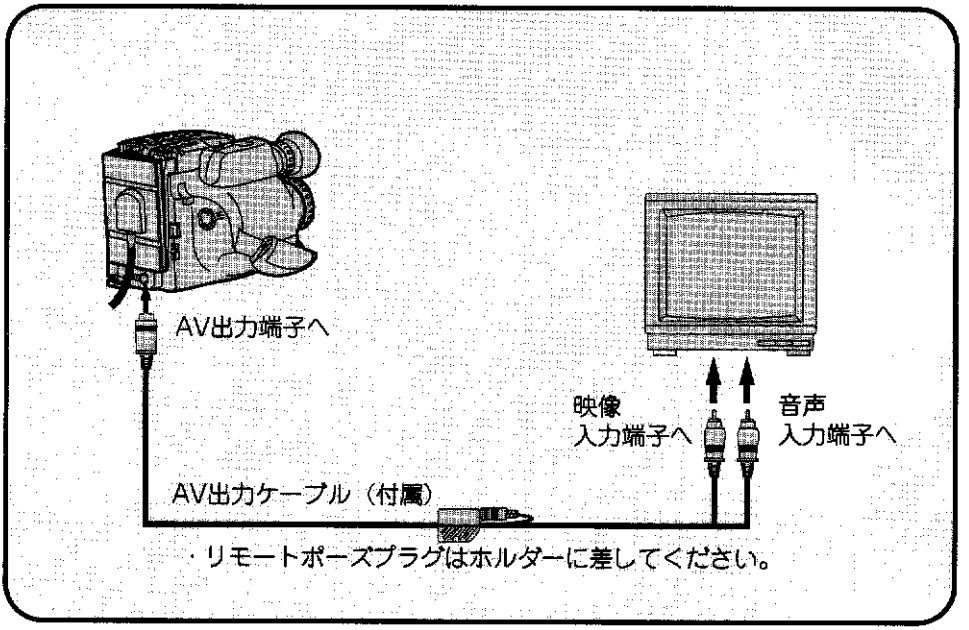
・**ムービーの電源**
バッテリーパックよりもACパワーアダプターを使うことをおすすめします。（13 ページ）

2 デッキに記録するテープを入れ、録画スタート／ストップの操作をする

●ビクターのリモートポーズ端子付きのデッキのときは、リモートポーズ端子をデッキにつないでください。ムービーのスタート／ストップボタンでデッキの録画スタート／ストップを操作できます。

映像／音声入力端子のあるテレビで見る

テレビに映像／音声入力端子が有るか、無いか確かめてください。有るときは、付属のケーブルを使って見ることができます。



1 ムービーとテレビをつなぐ

2 ムービーとテレビの電源を入れる

・ムービーの電源
バッテリーパックよりもACパワーアダプターを使うことをおすすめします。（13 ページ）

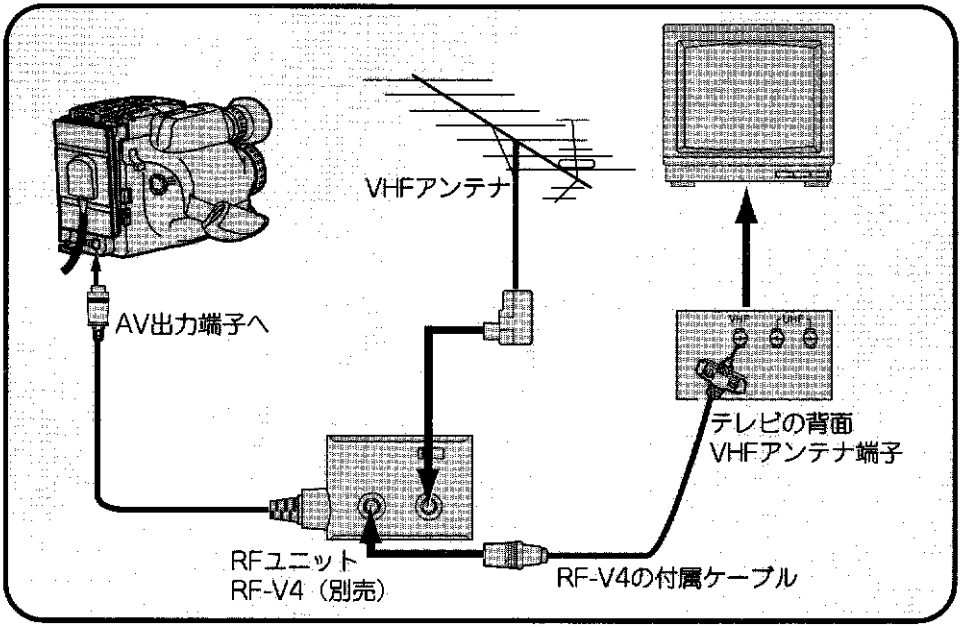
3 テレビの入力をムービーをつないだ端子に切り替える

（例　ビデオ１、ビデオ２、ビデオ３など）

4 再生をするとき（32 ページ）

映像/音声入力端子のないテレビで見る

テレビに映像/音声入力端子が有るか、無いか確かめてください。無いときは、別売のRFユニット（RF-V4）をお使いください。



1 ムービーとテレビをつなぐ

2 ムービーとテレビの電源を入れる

3 テレビをビデオ専用チャンネル1か2にする

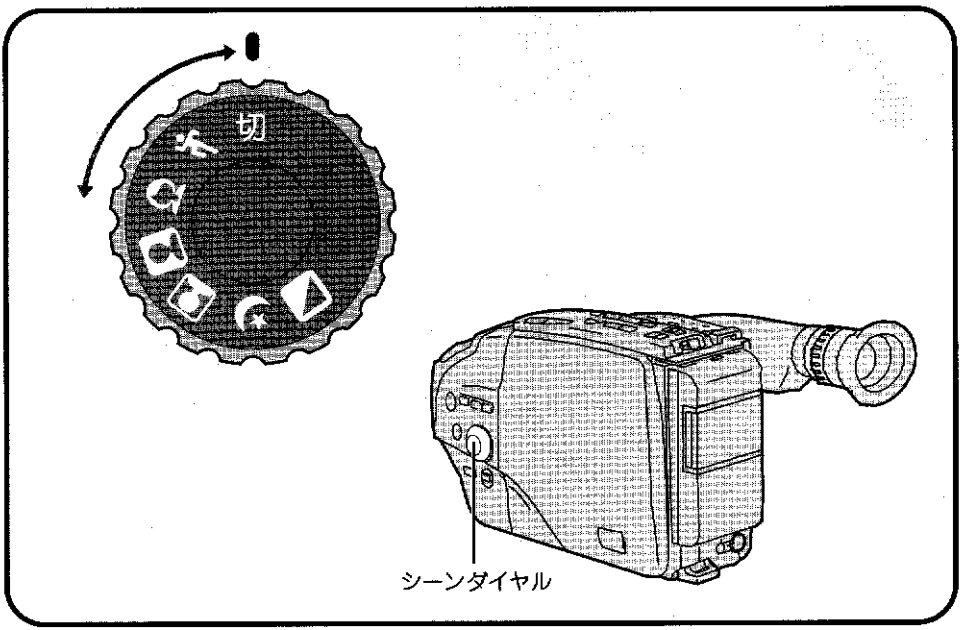
●RFユニットの設定チャンネルと同じにする。

4 再生をするとき（32ページ）

・**接続を詳しく知りたい**
RFユニットの取扱説明書をご覧ください。
・**ムービーの電源**
バッテリーパックよりもACパワーアダプターを使うことをおすすめします。（13ページ）

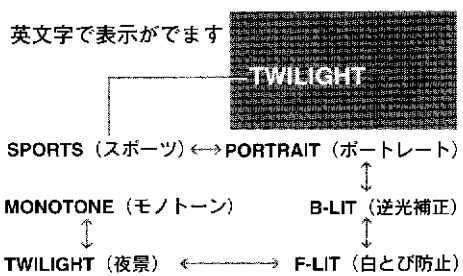
映像効果を出して撮る

6つのモードからそれぞれの場面に合ったものを選んで撮れば、今までにない映像効果を楽しむことができます。



シーンダイヤルを回してお好みのモードを選ぶ

- 回すたびにモードが切り替わります。
- 選んだシーンの設定になりビューファインダー内に表示が出ます。



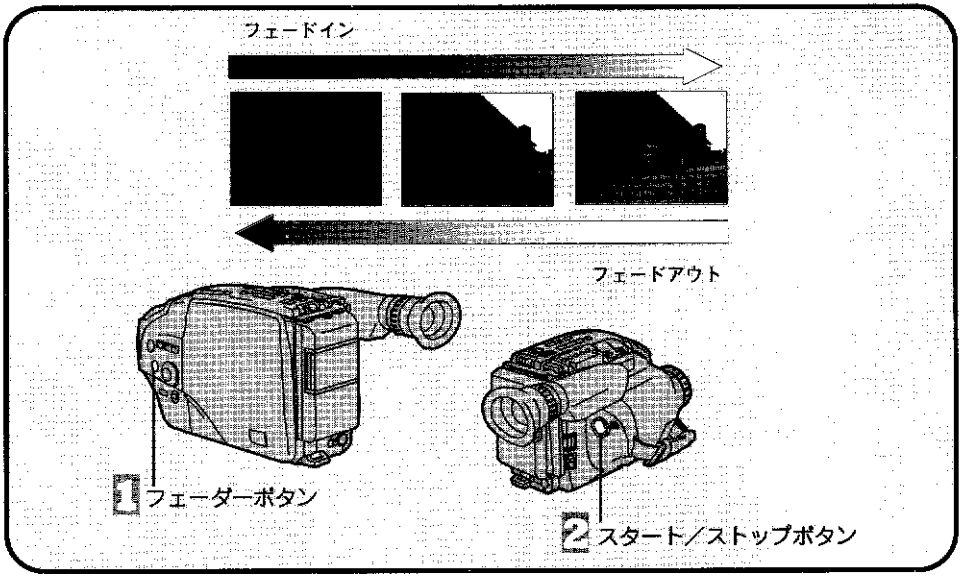
やめるには シーンダイヤルの'切'をマークと合わせる。

- **"AE" 表示**
  SPORTS（スポーツ）とPORTRAIT（ポートレート）のモードの時は、ビューファインダーに、モード表示と"AE"が表示されます。"AE"が表示されるモードは被写体の動きに合わせて自動的にシャッタースピードを変えて撮影します。

モード	映像効果	
スポーツ		動きの速い被写体をシャープに撮影します。後でスロー再生や静止画再生したとき被写体をブレの少ない映像で楽しめます。 (スロー再生、静止画再生機能のついたデッキで再生したときのみできます。) ●運動会など、動きのある被写体を撮るときなどに効果的です。
ポートレート		人物をより美しく引き立たせるよう背景をぼかして撮影します。 ●動きの少ない被写体(人物、花など)を中心に撮るとき ●望遠側で被写体を大きく撮るときなどに効果的です。
逆光補正		夏の海岸や冬のスキー場、または逆光状態などで被写体が暗くなるのを防ぎ、鮮明に撮影します。
白とび防止		結婚式や発表会の舞台などステージでスポットライトがあたるとき、被写体の顔などが白くなってはっきりしなくなってしまうのを防ぎ、鮮明に撮影します。
夜景		夕日が沈むときや、花火、ネオンサインなどの夜景を撮るとき、ザラザラしないそのままの自然な感じで撮影します。 ●フォーカスが手動になり、無限遠に合います。近くのものにピントを合わせたいときは、フォーカス遠/近ボタンで合わせてください。フォーカスボタンを押せば、自動フォーカスにすることもできます。 ●白バランスは5700K、シャッタースピードは標準になります。それぞれ白バランスボタン・シャッターボタンでお好みの白バランス・シャッタースピードに合わせてください。
モノトーン		ふるい映画のように白黒調(セピア色)で撮影することができます。 ●シネマモード(43ページ)と合わせて使うと、古い映画のような雰囲気を一段とお楽しみいただけます。 ●回想シーンや夢のシーンを撮るときなどに効果的です。

フェードイン／アウト撮影

真っ黒な画面から映像が徐々に現われるフェードイン、映像が徐々に消えて真っ黒な画面になるフェードアウト。



フェードイン

1 撮影一時停止でフェーダーボタンを押す

2 スタート／ストップボタンを押す

●撮影がスタートし、フェードインが始まります。

・**フェードの長さをかえるには**
フェードイン／アウト撮影のとき、スタート／ストップボタンを押している間はフェード状態（画面が黒）がつづきます。
・**効果的な使いかた**
映像の始まりにはフェードインを、場面が変わる部分にはフェードアウトからフェードインを続けて…、というようにお使いいただくと効果的です。

フェードアウト

1 撮影中にフェーダーボタンを押す

●ビューファインダー内に 'FADER' 表示が出ます。

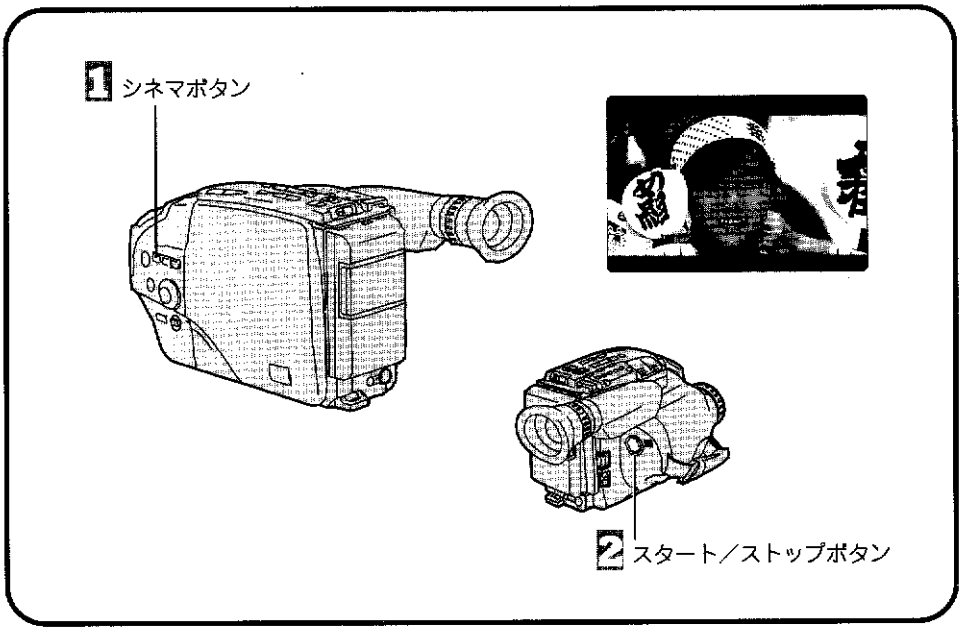
2 スタート／ストップボタンを押す

●フェードアウトが始まり、撮影が終わります。

・**スタート／ストップボタンを押すとき**
フェードイン／アウト中は、スタート／ストップは使えません。
フェードイン／アウトはスタート／ストップボタンのみで使えます。
・**フェード状態の色が赤っぽい**
シーンダイヤルで、モノトーンモードにしているとき、フェード状態で画面が少し赤っぽくなることがあります。

シネマモード撮影

シネマモードを使ってビデオ作品も映画のように撮影できます。



1 **撮影一時停止でシネマボタンを押す**

●シネマモードになります。

2 **スタート／ストップボタンを押す**

●撮影が始まります。

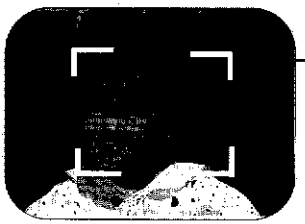
シネマモードをやめるには
シネマボタンを押す

・**古い映画のようにしたい**
シーンダイヤルのモノトーンモード（ 40 ページ）とあわせて使うと、古い映画の雰囲気をお楽しみいただけます。

ピントを合わせる

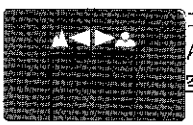
自動:約1.5 cm から無限遠までピントが合います。

このムービーはフルレンジオートフォーカスです。
自動的に被写体にピントを合わせます。
ピント合わせは画面中央（ピント検知ゾーン内）でおこないます。



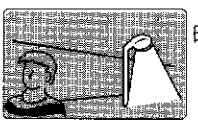
ピント検知ゾーン表示は記録されません

次のような撮影条件のときピントが合いにくいことがあります。手動フォーカスでピントを合わせてください。

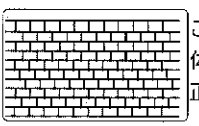


コントラスト（明暗差）のほとんどない被写体（平らな壁や青空など）

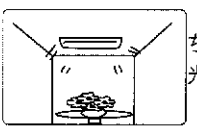
遠方と近距離の被写体が同一内に重なっている場合



暗い場所



こまかいパターンの被写体や同じパターンが規則正しく並んでいる被写体



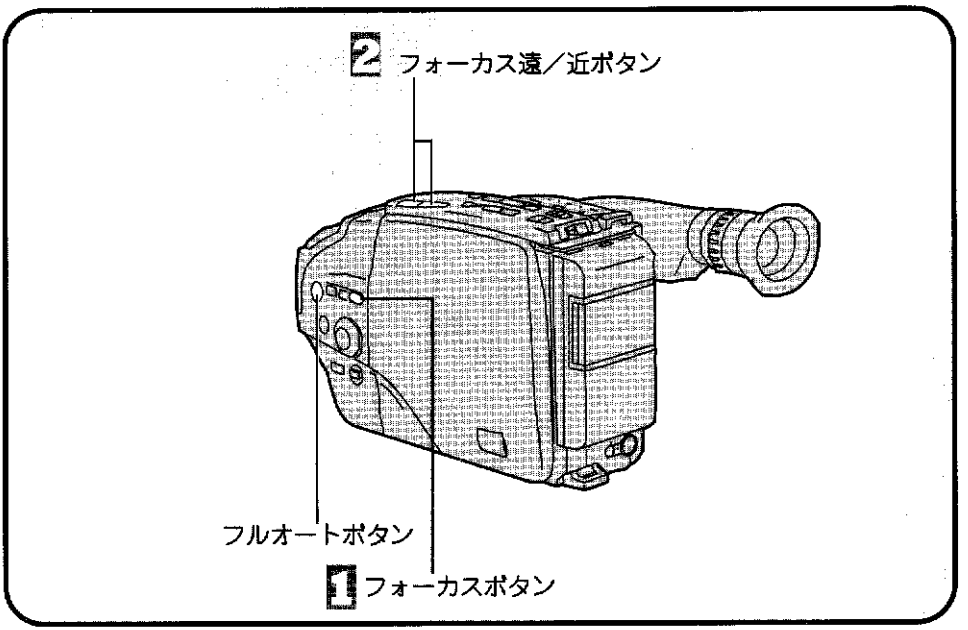
ちらつきのある光源（蛍光灯など）のとき

・ピントが合わない

＊汚れやつゆつきなどでレンズにくもりがあると、正しいピント合わせができません。汚れは柔らかい布などでふき取り、つゆつきは消えるまでまって撮影してください。

＊ズームアップ状態でコントラストのほとんどない被写体を撮影すると▲◀▶▲が点滅し、ピント合わせのため自動的にズームバック（広角側）します。

手動:被写体が画面中央にないときなどに使います。



1 フォーカスボタンを押す

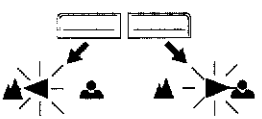
●ピント検知ゾーン表示が消え、手動フォーカス表示 ▲▲ が出ます。

2 フォーカス遠／近ボタンでピントを合わせる

自動フォーカスに戻すには

●もう一度フォーカスボタンを押す
●電源を切る
●フルオートボタンを押す
のいずれかを、おこなってください。

・▲▲ が点滅する

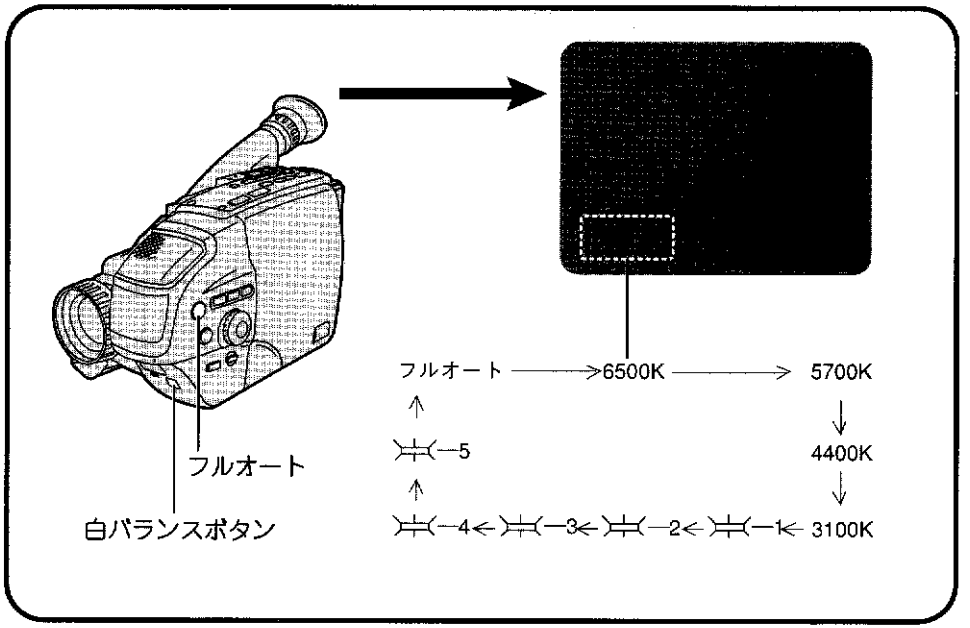


ピントが最遠点、最至近点になるとビューファインダー内の▲▲がそれぞれ点滅します。(目安ですので正確なピント合わせは、ビューファインダー内で確認しておこなってください。)

・**手動でピントを合わせる**
手動でピントを合わせるときは、あらかじめ視度調節 (21 ページ)をおこなってください。

白バランス調節

通常の撮影では自動的に白バランスを合わせ、自然な色合いに映るようにしています。
色合いをかえて撮影することもできます。



白バランスボタンを押して、照明条件に合わせる

- 47 ページの目安表をご覧ください。
- 自動調整にするには、フルオートボタンを押すか、白バランスボタンを押して表示を消してください。

白バランスの目安表

表示	こんなときに
6500K	くもり空や日陰で撮影するとき
5700K	晴れた日に屋外で撮影するとき
4400K	夕方赤みをおさえて撮影するとき
3100K	ビデオライトなどハロゲンランプを使って照明するとき
ㄷ一1	海外の駅のホームやデパートなど赤っぽい照明の下で撮影するとき
ㄷ一2	電器店など電球色蛍光灯の下で撮影するとき
ㄷ一3	事務所など白色蛍光灯の下で撮影するとき
ㄱ一4	三波長昼白色の蛍光灯の下で撮影するとき
ㄱ一5	三波長昼光色の蛍光灯の下で撮影するとき

・白バランスとは
人間の目で見ると同じ色でもビデオカメラで撮ると、ロウソクで照らされたときと蛍光灯で照らされたときとでは違った色になります。それを自然な色合いに映るようにする機能です。

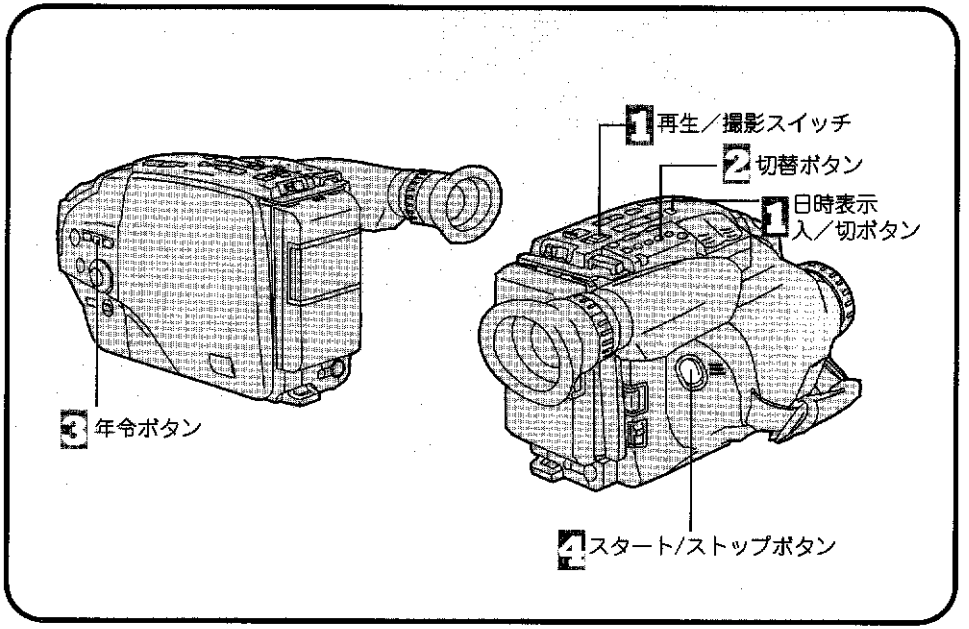
・白バランスの調節をするときは
●被写体の色にかたよりがあるとき
●屋外で赤や茶色の被写体を撮るとき
●色合いを変えてちょっとこった映像を撮りたいときなど、あらかじめ白バランスをセットして撮影することをおすすめします。

・色合いを確認するには
白バランスをセットするときはカラーテレビに接続することをおすすめします。

・ちょっとこった映像にするには
例えば、晴れた日に白バランスを4400K に合わせると、空をより青くとることができます。

日時を入れて撮る

日時表示を入れて撮影するときに、表示モードの中からお好みのものを選ぶことができます。

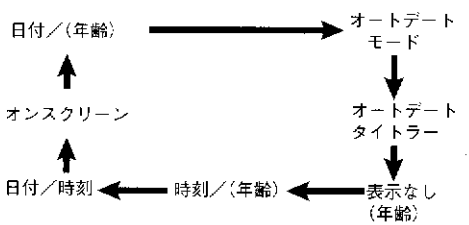


1 再生／撮影スイッチを撮影にし、日時表示入／切ボタンを押す

●ビューファインダーに日時表示が出ます。

2 切替ボタンを押す

●押すごとに切り替わります。



3 年齢を表示させたいときは、年令ボタンを押す

●押すごとに
年齢1→年齢2→表示なし
と切り替わります。

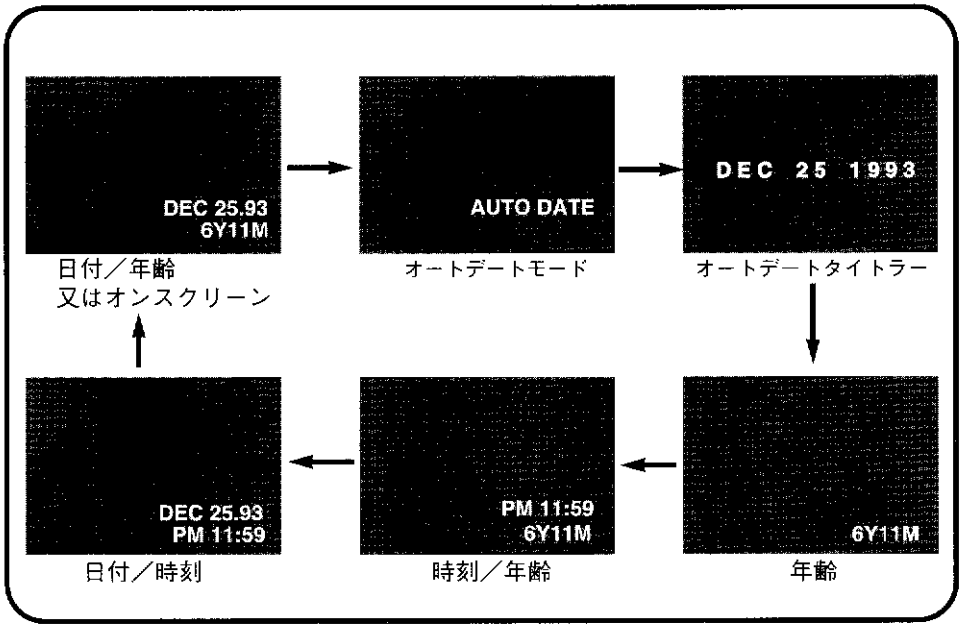
●日付／年齢表示；年齢表示；時刻／年齢表示とオンスクリーン表示の時のみ年齢を表示します。（49 ページ）

4 スタート／ストップボタンを押す

●録画が始まります。

・年齢表示は
1カ月未満→1D～31D（トラベルデート併用）
1カ月以上、1才未満→1M～11M
1才以上、7才未満→1Y0M～6Y11M
7才以上、99才まで→7Y～99Yを表示します。

表示モード：



・**オートデートタイトラーを使うとき**
撮影を始めると、月／日／年を画面の中央に大きく表示して、撮影開始から約5秒間だけ自動的に記録できます。約5秒たつと表示は消えます。

- 約5秒たつ前に、表示を消したいときは日時表示入／切ボタンを押してください。
- 撮影途中で表示を出したいときは、お好きな場面で日時表示入／切ボタンを押してください。（約5秒以上は記録できません。）

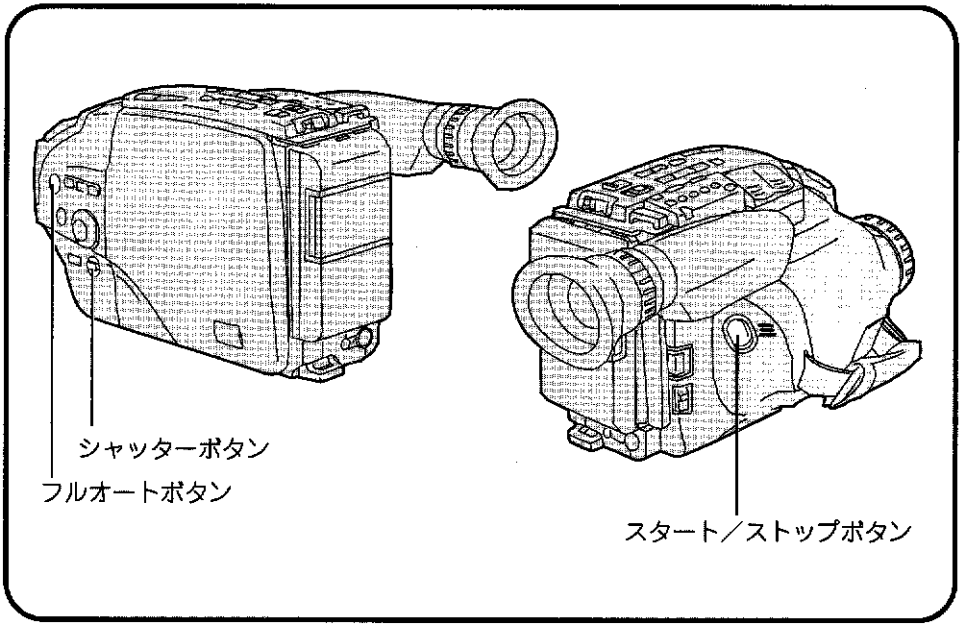
・**オートデートモードを使うとき**
録画を始めると、月／日／年を約5秒間だけ自動的に記録できます。約5秒たつと、ビューファインダーにはAUTO DATEが表示されていますが、テープには記録されません。

・**自動的に表示がでてきた**
オートデートタイトラー（またはオートデート）のときは、『日付が変わったとき』『カセットテープを入れ替えたとき』『切替ボタンで表示を変えて再びオートデートタイトラー（またはオートデート）を選んだときに』、約5秒間だけ自動的に表示します。

・**オンスクリーンモードは**
ムービーとモニターをつないで撮影一時停止（25ページ）またはカメラリハーサル状態（37ページ）にして、オンスクリーンモードを選ぶと現在のビューファインダー内の表示情報すべてを、つないでいるテレビで見ることができます。

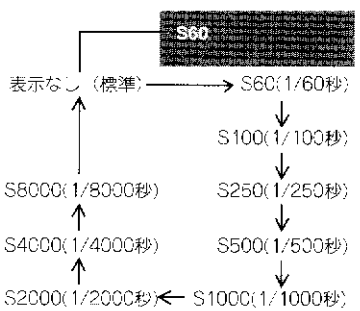
動きの速いものを撮る

動きの速いものを１コマ１コマ鮮明に撮り、デッキでストップモーションやスロー再生したときに、画面がブレたりせずきれいに再生できます。



シャッターボタンを押し、シャッタースピードを選ぶ

●シャッタースピードはボタンを押すたびに表示されます。



●シャッタースピードを標準に戻すときはシャッタースピード表示が消えるまでシャッターボタンを押すか、フルオートボタンを押してください。

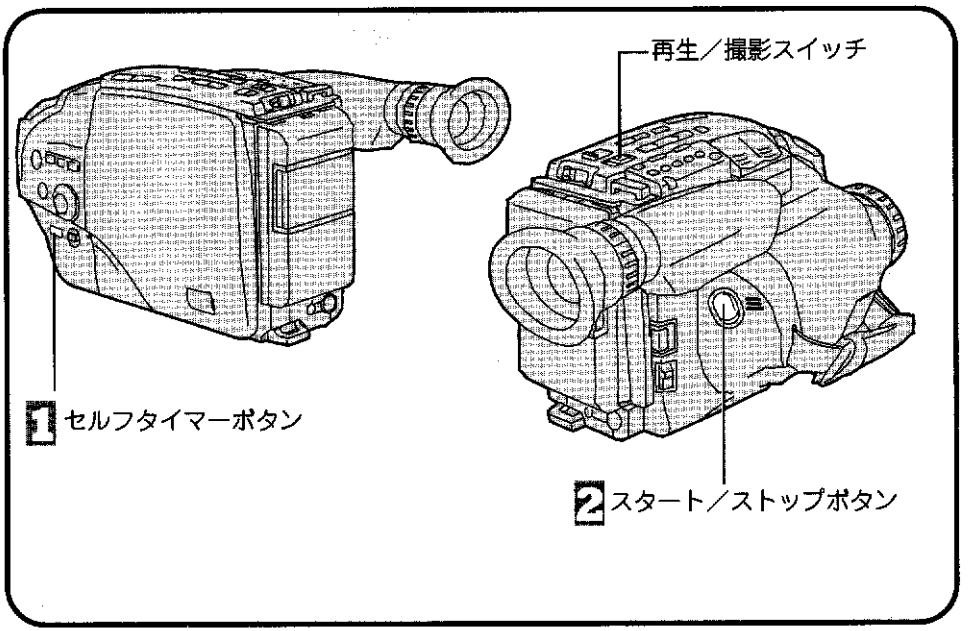
・撮影中画面がチラつく
蛍光灯や水銀灯の光で撮影するとき、画面がチラつくようなことがあります。
シャッタースピードをS100に合わせてください。多少画面は暗くなりますが、チラつきは少なくなります。

・画面が暗くなる
シャッタースピードは速くなるほど画面が暗くなります。できるだけ、明るいところで撮影してください。

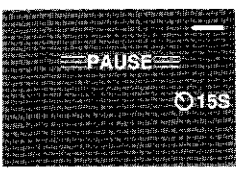
・シーンダイヤルのスポーツモード
シャッタースピードを固定して撮影したいときや、スポーツモードより速いシャッタースピードで撮影したいときに、シャッターボタンを使用してください。

セルフタイマーを使って撮る

ムービーを固定して、撮影者もいっしょに画面に入れます。



1 再生／撮影スイッチを撮影にし、セルフタイマーボタンを押す



●ビューファインダーに"15S"（15秒）を表示します。

2 スタート／ストップボタンを押す

●約15秒たつと、自動的に撮影を開始します。

●撮影約10秒前になると、タリーランプが点滅しはじめます。
撮影が始まると、タリーランプは点灯します。

・別売のリモコンを使えば

別売のリモコンRM-V20を使えば15秒以外に、30秒／1分／5分でもセルフタイマー撮影ができます。（55 ページ）

・セルフタイマーを解除するには

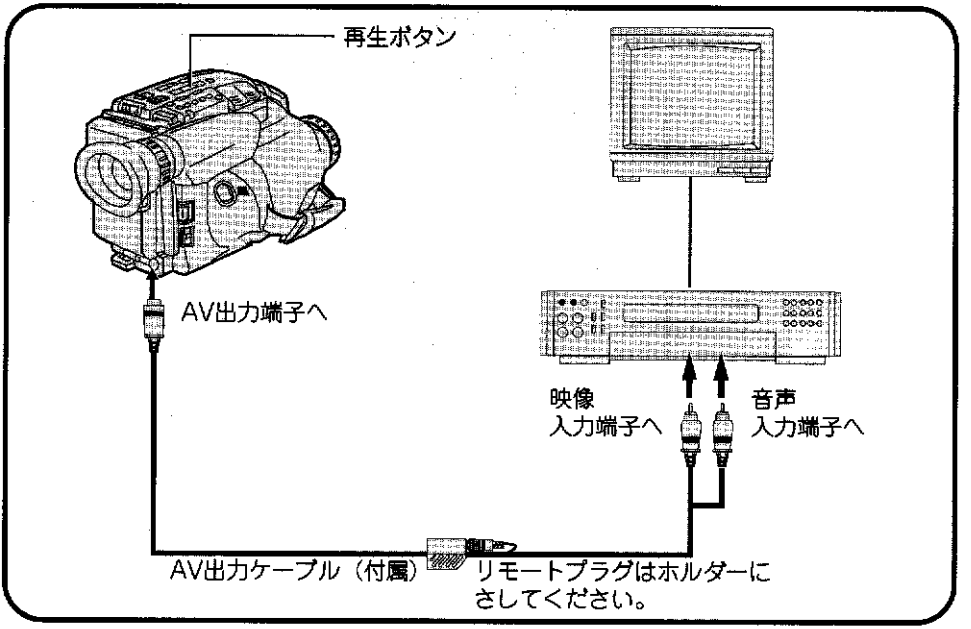
〔"—" が点滅していないとき〕
セルフタイマーボタンを押す。

〔"—" が点滅しているとき〕
録画スタート／ストップボタンを押し"—"の点滅をとめ、セルフタイマーボタンを押す。

—電源スイッチを切り、再び電源スイッチを入れると通常の撮影一時停止になります。

編集する

ビクター以外のリモートポーズ端子のないデッキ：もう一本同じテープを作ったり、好きな場面だけを集めてオリジナルテープを作るときに。



1 **ムービーとデッキの接続と、外部入力の切り換え（37 ページ）をする**

2 **デッキを録画一時停止状態にする**

●撮影したテープをムービーに、録画するテープ(ツメ付きテープ)をデッキに入れておいてください。

3 **ムービーを再生する**

4 **ダビングしたいところでデッキの録画をスタートさせる**

●ダビング中、カットしたいところはデッキを録画一時停止状態にしてください。

編集を終えるには停止ボタンを押す

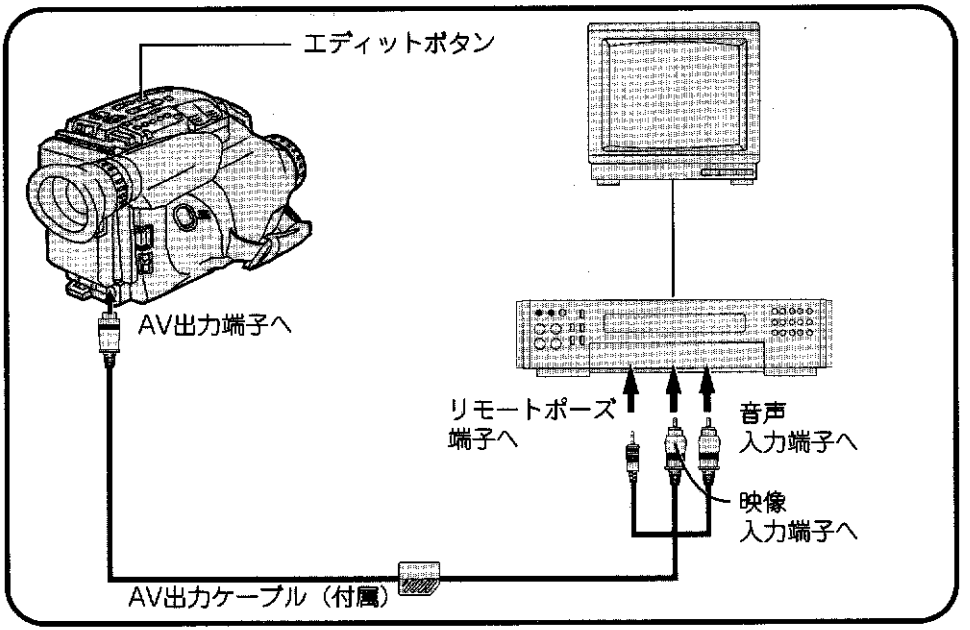
・**録画一時停止が解除したら**

デッキは録画一時停止が続くとテープ保護のため停止します。再びお使いになるには、もう一度録画一時停止にします。

きれいにつなぎ撮りするには、ダビングした最後のところまで再生し、そこで一時停止にします。その後、録画一時停止にしてください。

デッキの取扱説明書もお読みください。

ビクターリモートポーズ端子付きのデッキ：もう一本同じテープを作ったり、好きな場面だけを集めてオリジナルテープを作るときに。



1 ムービーとデッキの接続と外部入力の切り換え（37 ページ）をする

2 ムービーを再生して映像を見ながら、編集したい終わりの場面で一時停止ボタンを押す

3 カウンター“R”（リセット）ボタンを押し、カウンター“M”（メモリー）ボタンを押す

●カウンターメモリー表示が、M0:00:00 になります。

4 巻戻しボタンを押す

●編集を始める位置の少し前までテープを巻き戻し、一時停止ボタンを押してください。

5 エディットボタンを押す

●本機と録画側ビデオが自動的にスタートし、ダビングが始まります。

●録画を中断したいときは、一時停止ボタンを押します。もう一度スタートさせるときはエディットボタンを押す。

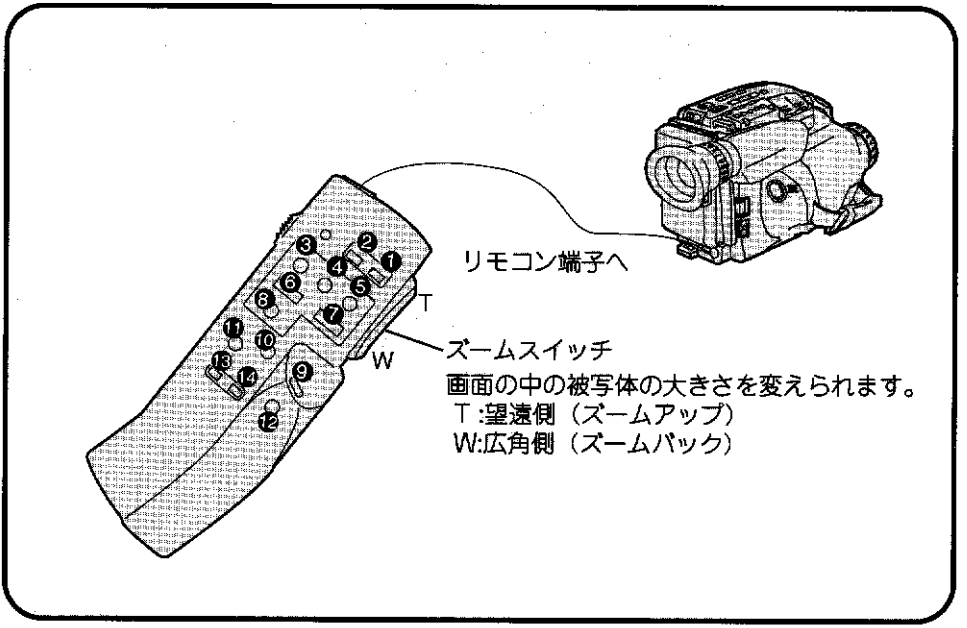
●2で設定した所で、自動的に編集は終了します。ムービーは静止画再生になります。デッキは録画一時停止になります。

・編集点がズレる

カウンター表示は大まかな目安なので、編集点がずれることがあります。故障ではありません。

リモコンRM-V20（別売）を使って

リモコンRM-V20（別売）を使えば、ムービー本体に付いていない機能を使うことができます。くわしくはリモコンの取扱説明書もご覧ください。

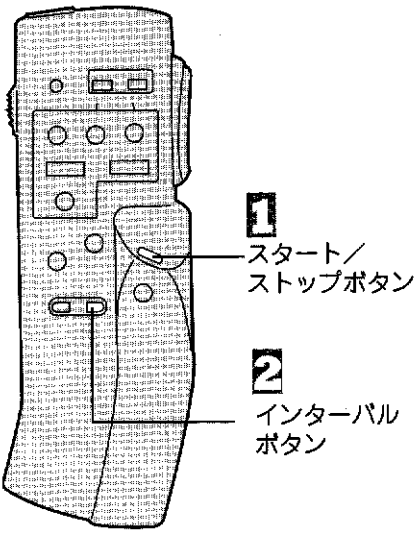


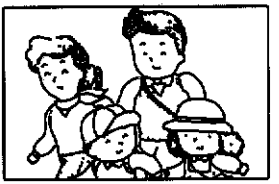
リモコンのボタン（名称）	各ボタンのはたらき	
	ムービーの撮影／再生スイッチが撮影のとき	ムービーの撮影／再生スイッチが再生のとき
❶電源（入）	電源「入」	
❷電源（切）	電源「切」	
❸録画	—	—
❹巻戻し／リテイク	リテイク（R）逆転	巻戻し／高速巻戻し
❺早送り／リテイク	リテイク（F）正転	早送り／高速早送り
❻停止	—	停止
❼再生	—	再生／アフレコスタート
❽一時停止／静止／リバーサル	—	一時停止
❾スタート／ストップ	ムービーのスタート／ストップボタンと同じはたらきをします	インサート時のみスタート／ストップ
❿アフレコ	—	アフレコ（一時停止と同時押し時）
⓫インサート	—	インサート（一時停止と同時押し時）
⓬VISS	インデックスコード（書き込み）	—
⓭録画タイム（アニメ）	録画タイム（アニメ／タイムラプス）	—
⓮インターバル（セルフタイマー）	インターバル（セルフタイマー／タイムラプス）	—

❸ 録画タイム、⓮インターバルでアニメ、セルフタイマー、タイムラプスを設定しているとき、(55〜57 ページ)ムービーのセルフタイマーボタンを押すと、15S（15秒）のセルフタイマーが設定されます。

セルフタイマーを使って撮る

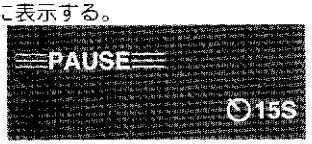
ムービーを固定して、撮影者もいっしょに画面に入れます。別売リモコンを使えば、15秒だけでなく30秒／1分／5分のタイマー時間を選べます。





1 インターバルボタンを押し、撮影開始までの時間を選ぶ

●時間はボタンを押すたびに、
15S（15秒）→30S（30秒）→1MIN（1分）→5MIN（5分）
の順に表示する。



2 スタート／ストップボタンを押す

●表示している時間になると自動的に撮影を開始します。

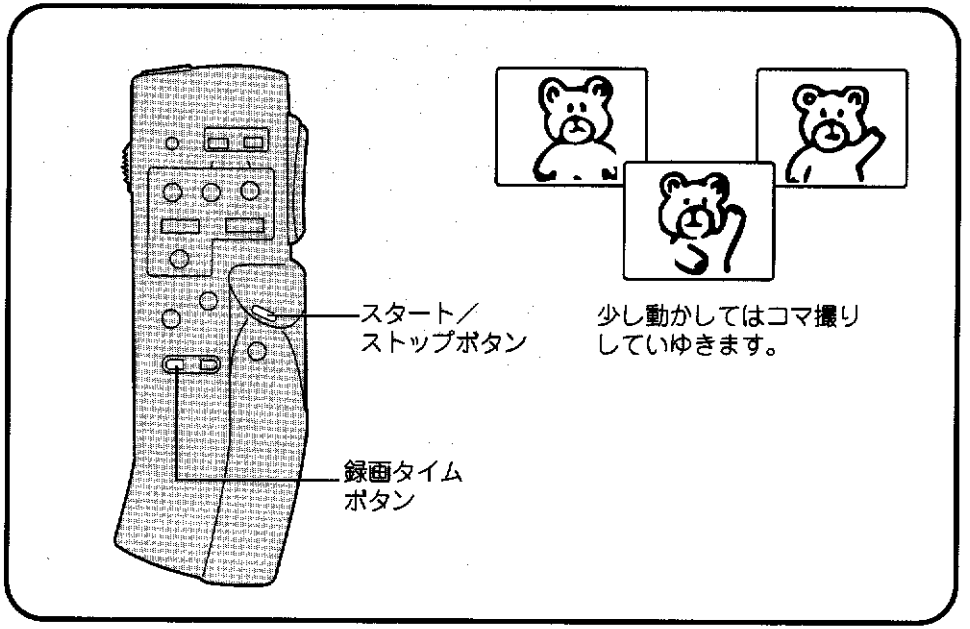
・**セルフタイマー時のタリーランプ**
撮影開始、約10秒前からタリーランプが点滅します。撮影が始まると通常どおり点灯します。

・**セルフタイマーを解除するには**
〔"—" が点滅していないとき〕
インターバルボタンを ⏲ 表示が消えるまで押す。
〔"—" が点滅しているとき〕
スタート／ストップボタンを押し、"—"の点滅をとめ、インターバルボタンを、⏲ 表示が消えるまで押す。

—電源スイッチを切り、再び電源スイッチを入れると通常の撮影一時停止になります。

アニメ撮影

人形など、本来動かないものを動かして撮影し、再生すると、あたかも動いているように見えます。



1 SP/EP切り換えスイッチをSP(標準)にする

2 再生／撮影スイッチを撮影にし、リモコンの録画タイムボタンを押し、撮影時間を選ぶ

●時間はボタンを押すたびに1/4S(1/4秒)→1/2S(1/2秒)→1S(1秒)の順に表示されます。

3 スタート／ストップボタンを押す

●表示している録画時間の撮影後に、アニメ撮影一時停止になります。

4 3の操作を繰り返して撮影する

●時間を変えて撮影したいときは2と3の操作を繰り返してください。

・電源が切れたとき

アニメ撮影の一時停止が、約5分つづくと電源が切れます。再び電源を入れると、アニメ撮影の一時停止に戻ります。

・音声が入ります

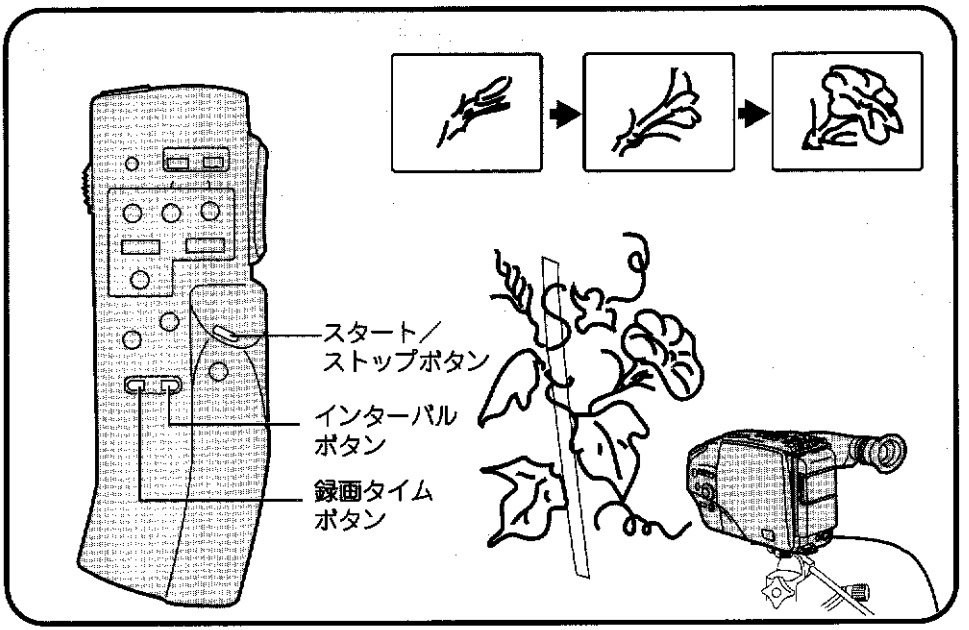
アニメ撮影では音声が入りますが、必要に応じてアフレコで録音してください。

・アニメ撮影を解除するとき

アニメ撮影を解除するときはビューファインダー内の"1/4S,1/2S,1S"が消えるまでリモコンの録画タイムボタンを繰り返し押してください。

タイムラプス撮影

一定間隔で録画スタート／ストップを繰り返します。アサガオの花が開くまでを撮ると、つぼみから花になっていく様子が良くわかります。



1 SP/EP切り換えスイッチをSP（標準）にする

2 再生／撮影スイッチを'撮影'にし、録画タイムボタンを押し、撮影時間を選ぶ

●時間はボタンを押すたびに1/4S(1/4秒)→1/2S (1/2秒)→1S (1秒)の順に表示します。

3 インターバルボタンを押し、撮影と撮影の間隔を選ぶ

●時間はボタンを押すたびに15S (15秒)→30S(30秒)→1MIN (1分)→5MIN (5分)の順に表示します。

4 スタート／ストップボタンを押す

●2と 3で設定した時間の撮影と、録画一時停止を繰り返します。

・タイムラプス時のタリーランプ
撮影開始約10秒前からタリーランプが点滅します。撮影が始まると通常どおり点灯します。

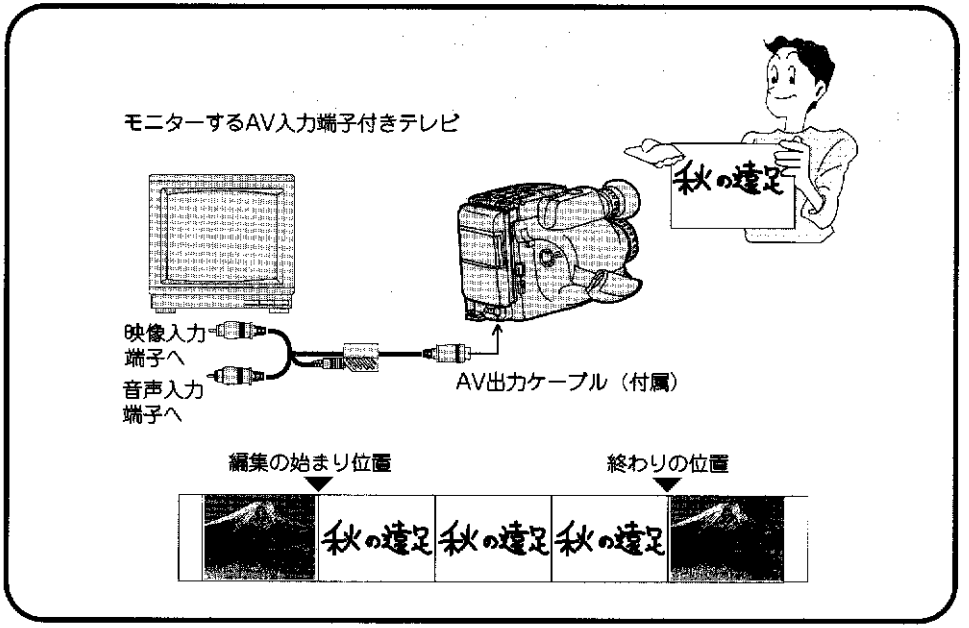
・タイムラプスを解除するには
〔"—"が点滅していないとき〕
インターバルボタンと録画タイムボタンを と 表示が消えるまで押す。
〔"—"が点滅しているとき〕
スタート／ストップを押し、"—"の点滅を止め、インターバルボタンと録画タイムボタンを と 表示が消えるまで押す。

—電源スイッチを切り、再び電源スイッチを入れると通常の録画一時停止になります。

—タイムラプス撮影時、フェードイン／フェードアウトは出来ません。

別売リモコンで編集する

インサート：録画済みテープにタイトルを入れたり、映像を入れ替えることができます
アフレコ　：録画済みテープの音声を、マイクを使って入れ替えることができます。



1 再生／撮影スイッチを'再生'にし、テープを再生する

2 編集を終わらせる位置で、一時停止／静止ボタンを押す

3 カウンター"R"(リセット)ボタンを押し、カウンター"M"(メモリー)ボタンを押す
- ビューファインダー内に"M0:00:00"を表示します。

4 巻戻しボタンをポンと押し編集を始める位置の少し前まで巻き戻す

5 編集を始める位置まで再生し、一時停止／静止ボタンを押す

6 インサートする場合
インサートボタンを押したまま一時停止／静止ボタンを押す

●映像だけでなく、音声も同時にインサートするときは、アフレコと一時停止／静止ボタンを同時に押してください。

7 録画スタート／ストップボタンを押す

●編集が始まります。

● のカウンターがM0:00:00の位置にくると自動的に編集が終わり、再生状態になります。

6 アフレコする場合
アフレコボタンを押したまま一時停止／静止ボタンを押す

7 再生ボタンを押す

●編集が始まります。

● のカウンターがM0:00:00の位置にくると自動的に編集が終わり、再生状態になります。

・ツメが折られているテープ
消去防止用ツメが折られているテープではインサート／アフレコはできません。ツメの部分にセロハンテープを貼ってください。

・電源が切れた
一時停止状態では約5分間で電源が切れます。再度電源を入れてセットしてください。

・録画時間（SP/EP）の変更
インサートする部分の途中で、録画モード（SP/EP）が変わっていると、インサートした場面が乱れますのでご注意ください。
また、インサートするとき録画モードは、SP/EP切り換えスイッチの位置（SP/EP）に関係なく、テープに録画されていたモードで編集されます。

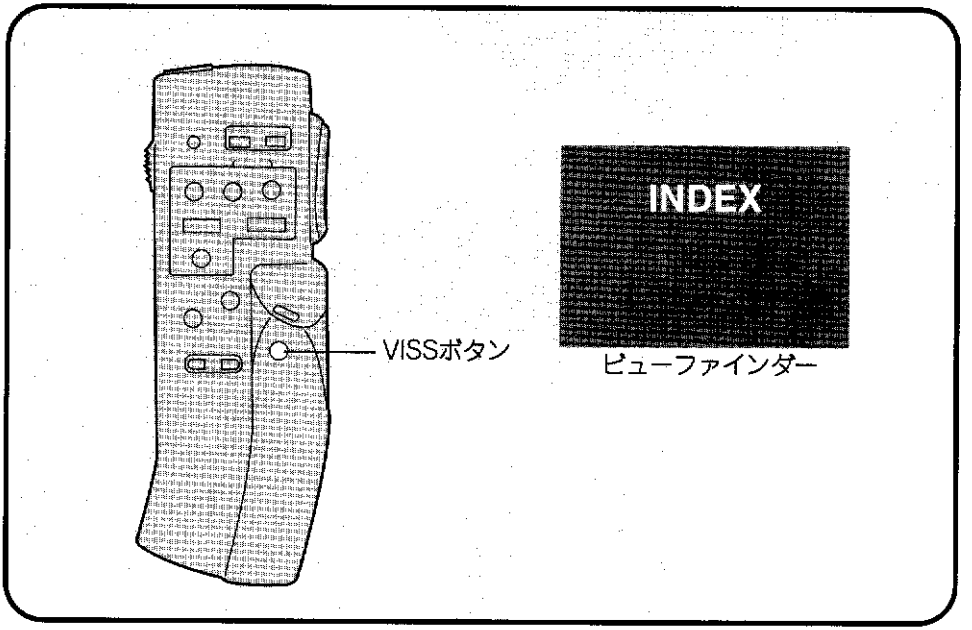
・編集点がズレる
インサート編集点でズレることがありますが、故障ではありません。

・テレビにノイズが出るとき
アフレコやインサートの時に、テレビが「ピー」「ウワ〜ン」というノイズを出すときは、マイクをテレビからはなすか、テレビの音量をさげてください。

・テープの音声が消えてしまった
アフレコで音声を記録すると、テープに録音されていた音声は消去されます。

見たいところの頭出しを簡単にする

再生時に頭出しを容易にするために、撮影時にインデックスコードをテープにマークします。インデックスコード機能の付いたVHSデッキでお使いいただけます。



撮影中に、マークしたいところ(すぐ見たいシーン)でVISSボタンを押す

INDEX（インデックス）表示が消えたら、インデックスコードの書き込み完了です

・撮影一時停止中にVISSボタンを押したとき
撮影一時停止中にこのボタンを押せば、そのあと録画スタートしたときに、インデックスコードを書き込みます。

・VISS書き込みができないモード
アニメ・タイムラプスでは、VISS書き込みはできません。

・コード間隔について
いくつかインデックスコードを書き込むときは、となりのコードとは多少離して書き込んでください。コード間隔が近すぎると、誤動作することがあります。

必ずお読みください

バッテリーパックは上手な充電と使い方で長持ちできます。

屋外

バッテリーパックBN-V12 ,別売のBN-V14 , BN-V22,BN-V50 ,BN-V60 などを使います。
(バッテリーパックの充電時間と連続撮影時間は 74 ページの主な仕様をご覧ください。)

上手な充電と使い方

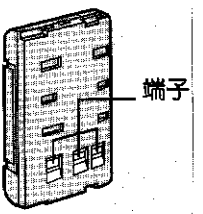
使用前に充電を！

●バッテリーパックは使用しなくても自己放電する特性があります。
したがって充電せずに出荷しています。使用する直前か前日に充電してください。
●充電するときの周囲温度は、１０～３５℃の温度範囲でおこなってください。

バッテリーパックは完全に使いきってから充電を！

(完全に使いきる) → (充電) → (完全に使いきる) → (充電)

●使いきらないまま充電するとバッテリーパックの容量低下の原因になります。
一度使いきった後充電してください。
(容量の残っているときは、AA-V11で放電させます。リフレッシュ機能付き
バッテリーパックBN-V60 (別売) もあります。)
●充電したバッテリーパックを持ち運ぶときは、ビニール袋で包むなどして、端子に、キーホルダーやネックレスなどの金属類が触れないようにしてください。事故の原因となります。



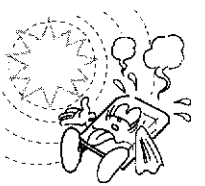
使用時間が短くなってきたら

バッテリーパックには寿命があります！

●長時間 (約1年) 保存されたバッテリーパックは、はじめ使用時間が若干短めです。
充電と放電 (使いきる) を数回繰り返すとバッテリーパックの容量が回復します。
(完全に使いきる) → (充電) を繰り返しても使用時間が短いときは寿命がきていますので新しいバッテリーパックをお求めください。

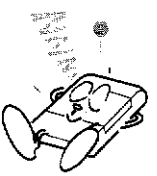
次の場合にも撮影時間が短くなります。

●寒冷地など温度の低いところでの撮影
●ズーミングをして撮影



正しい保存のしかた

●温度が上がらない乾燥した場所に置いてください。
(高温の場所では寿命が短くなり、自己放電も多くなります。)
●電源を切っても微少電流が流れています。長時間使用しないときは機器から取り外してください。
●長時間使用しないときは放電した状態で保存してください。



必ずお読みください^{つづき}

ビデオ機器は精巧に作られた精密機械です。十分に注意してお取り扱いください。

取り扱い上の注意

あなたがビデオで録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。(なお、鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。)

安全にお使いいただくために

以下のことにご注意ください。危険なうえ、故障の原因になります。

■キャビネットは、はずさない。

■内部に金属類や燃えやすいものなど、差し込まない。

■雷が近いときは使用しない。

■衝撃を与えない。
●不安定になるような持ち方をしない。

■ムービーのレンズを直接太陽に向けない。
●強い光線、反射物、高輝度の被写体にもご注意ください。

■ACパワーアダプターなどの電源コード類に傷をつけない。
●電源コードプラグを抜くときは、コードを引っ張らずに必ずプラグを持っておこない、使用しないときは電源コードをコンセントから抜いてください。

使用場所の注意

以下の場所での使用、放置は故障の原因となるのでお避けください。

■湿気や油煙、ほこりの多い場所。
●砂浜などでの使用は内部に砂や海水が入らないようにご注意ください。
●雨天、降雪中の使用では、濡らさないようにご注意ください。

■温度が高い場所。
●直射日光のあたる場所や暖房の近く。窓を閉めきった自動車の中。(周囲温度0～40℃の範囲、湿度は35～80%内の場所で使用されることをお勧めします。)

■強い電波や磁気の発生する場所。

カセットテープの注意

■録画済みカセットテープに新しく録画すると、前の画と音は自動的に消えます。

■カセットテープは裏返しでは使えません。

■テープを走行させないでカセットテープの出し入れを繰り返さない。

保管の方法

■ふだん使用しないときは
カセットテープを取り出して電源を切り、電源(バッテリーパック)を外しておいてください。
機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れ、作動させてください。

■ビデオカセットはケースに入れて、カビの発生しないところに立てて保管してください。

リチウム電池の注意

■充電、ショート、分解、加熱、火に投入しないでください。

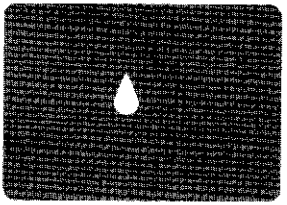
■ピンセットなどの金属物で絶対につままないでください。

■交換用電池（CR2025 または相当品）は最寄りの電気店またはカメラ店でお求めください。

■電池（CR2025 または相当品）は約 1 年毎に交換してください。
（約 1 年に満たないうちに切れることがあります。）

■電池交換後は日時合わせをおこなってください。

つゆつきについて



ビューファインダー内につゆつきマークが表示されたらムービーは停止状態になります。

よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに徐々に水滴が付きます。この状態を‘つゆつき’といいます。

ビデオの心臓部であるヘッドドラムのまわりに徐々に水滴が付き、ビデオテープが貼り付いてテープを傷めてしまいます。

‘つゆつき’状態になると、つゆつきマークが表示され、ムービーは停止状態になり再生や録画ができません。
数時間待ってつゆつきマークが消えてからご使用ください。

つゆつきはこんなときにおこります

- ムービーを寒いところから急に暖かいところに移動したとき。
- 湿気の多いところでの使用時。
- 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるとき。

- つゆつきはレンズにもおこります。これらがくもっているときは、きれいな映像で撮影できません。つゆつきマークが消えるまで待ってから、カメラ撮りをおこなってください。
- 通常、つゆつきは徐々に進行しますので１０～１５分間はつゆつきの現象があらわれないことがあります。
- 寒冷地域では露が凍結し、霜になっていることがあります。このような場合、霜が溶けて露になるまで、さらに時間がかかります。

お手入れについて

●お手入れのときは、電源を外して行なってください。

ボディの汚れは

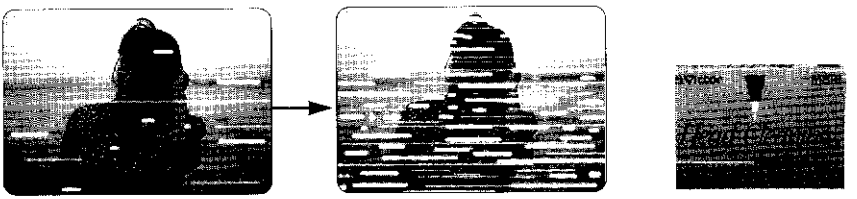
乾いた柔らかい布などで拭きとってください。
汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に布を浸し、固く絞ってから汚れを拭き、乾いた布で仕上げてください。化学ぞうきんまたは洗剤をご使用の際は、その注意書に従ってください。

カメラのレンズはいつもきれいに

レンズブロワーでほこりを落としてから、レンズクリーニングペーパーなどで清掃してください。汚れたまま放置すると、カビなどが発生する場合があります。

ビデオヘッドの汚れについて

テープを再生したとき、左のような症状が出たときはヘッドの汚れによるものです。別売のクリーニングカセット(TCC-2)を使ってビデオヘッドのクリーニングをおこなってください。
クリーニングカセットの取扱説明書をよく読んでからお使いください。



ランプの交換について

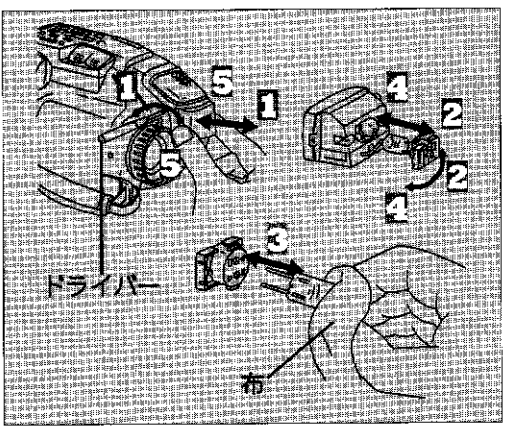
1 ドライバーでネジをはずし、ムービーからライトをとりはずす

2 ランプユニットをとりはずす

3 古いランプを矢印方向にとりはずし、新しいランプを取り付ける
※ランプは直接手で触れず、乾いたやわらかい布を使って取り付けてください。

4 ランプユニットを取り付ける

5 ライトをムービーに取り付け、ネジをしめる



交換ランプは、必ずハロゲンランプ（YQ20645-001）をお使いください。（お近くの販売店もしくはお近くのビクターサービス窓口で、お求めください。）
ランプが汚れると、煙がでたり、寿命が短くなったり、照度の低下をまねきます。万一さわったときは乾いた布で拭いてください。

・ランプが熱いときに交換すると、けがや事故のもとになります。ランプ交換は必ず電源を切り、ランプが冷えてからおこなってください。
（電源を切ってから約30分以降が目安です。）

保証とアフターサービスについて

保証書について

保証書記載内容の確認と保存のお願い

この商品には、保証書を別途添付しています。
保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入および記載内容をご確認頂き、大切に保存してください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際はムービーの製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

保証期間は

お買い上げ日より１年間です。
保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理致します。

アフターサービスのお問い合わせ先

保証期間経過後の修理については

お買い上げ販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理致します。

補修用性能部品の保有期間について

当社は、このムービーの補修用性能部品を製造打ち切り後最低８年保有しています。

修理を依頼されるときは

故障かなと思ったときは

67 ～ 68 ページをよくお読みのうえ、故障かどうかお調べください。

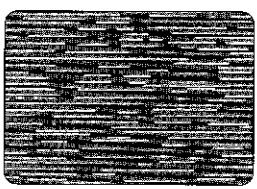
ムービーが異常なときは

異常な音や煙がでるとき、また画が出なくなったときは、接続機器の電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店またはお近くのビターサービス窓口にご連絡ください。

美しい画面をご覧いただくための点検のおすすめ

ムービーは非常に高い精度を必要とする機械です。特にビデオヘッドやテープを動かす機械部品は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりしています。性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくためにおおよそ１０００時間をめどに、点検整備されることをおすすめいたします。

末期状態



ビデオヘッドは摩耗します

ビデオヘッドをクリーニングカセットを使ってクリーニングしても鮮明な映像が映らない場合はビデオヘッドのチェックまたは交換が必要です。お買い上げ販売店
またはビクターサービス窓口にご相談ください。

故障かなと思う前に

症　状	処　置	参照ページ
ムービーの電源が入らない	●電源ユニットは正しく接続されていますか。 ●バッテリーパックは充電されていますか。	10 ～ 14
録画ができない	●ツメなしカセットテープで撮影していませんか。 ■ツメの部分にセロハンテープを貼ってください。 ●再生／撮影スイッチが“再生”になっていませんか。 ■再生／撮影スイッチ“撮影”にしてから スタート／ストップボタンを押してください。	23
オートフォーカスが正常に動かない	●フォーカスが“手動”になっていませんか。 ●暗い所やコントラスト（明暗差）のないものを撮影しませんでしたか。 ●ビューファインダーの視度調節を合わせましたか。 ●レンズにゴミやホコリ、水滴などが付いていませんか。 ■レンズクリーニングペーパーなどで清掃してください。	44 21
テレビで映すと被写体が黒っぽくなってしまう	●逆光で撮影しませんでしたか。 ■シーンダイヤルのB.LIT（逆光補正）で撮影してください。	41
モノトーンモードでフェードイン／アウトの色が赤っぽい	■故障ではありません。	42
ビューファインダーの画像が出ない	■電源をもう一度入れなおしてください。	24
被写体に強い光が入ると縦に白い線が出る	■大きなコントラストの違いによる現象で、故障ではありません。	—
再生、巻戻し、早送りができない	●テープが終わりまでいっていませんか。 ●再生／撮影スイッチが“撮影”になっていませんか。 ●カセットが早送り、巻戻しを完了していませんか。	33
早送り、巻戻し中に途中でテープがストップする	●カウンターメモリーがセットされていませんか。	35
再生画面にノイズがでる	■トラッキング調節をしてください。	33
ビューファインダー画面ができたない	●ビューファー画面にゴミが付いていませんか。 ■アイカップを外して中を清掃してください。	21
録画、再生ができない	●ビューファインダー部につゆつきマークが出ていませんか。 ■つゆつきがおきています。数時間まってからお使いください。	64

故障かなと思う前に つづき

症　状	処　置	参照ページ
テレビはきれいに映るが、テープを再生するとザラザラな画面になったり、消えてしまう	■ビデオヘッドが汚れ、または摩耗しています。クリーニングカセット(TCC-2)を使ってクリーニングしてください。 ■お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。	65 66
テープは回っているが、再生しない	●テレビのチャンネルがビデオ専用チャンネル1か2になっていますか。 ●AV端子付きテレビの場合は、テレビのチャンネルを"ビデオ"にする。	39 38
テレビ画面にモニターできない	●別売のAV入力ケーブルでつなぎませんでしたか。 ■付属のAV出力ケーブルでつないでください。	38
ビューファインダー内にE01～E06などが表示された	■ムービーに異常が発生したとき、拡大故障を防ぐため動作を停止させます。お買い上げ販売店、またはお近くのサービス窓口にご相談ください。	75
ACパワーアダプターで充電／リフレッシュができない	■ムービーとDCコードで接続しているときに充電／リフレッシュはできません。	13
バッテリーパックの使用時間が短くなってきた	■付属のACパワーアダプター（AA-V11）でリフレッシュしてください。 ■バッテリーパックには寿命があります。	11 61

・**電源を外すときのご注意**
電源ランプ点灯中に電源を外さないでください。テープを傷める原因になります。

・**このムービーはマイコンを使用しています。**
外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。そんな時はムービーから電源（バッテリーパック、ACパワーアダプター、リチウム電池など）を一度取り外してから、改めてご使用ください。

ACパワーアダプター(AA-V11)ランプが点滅／点灯したときは

～異常が考えられます。次の手順でご確認ください～

充電ランプが点滅 → バッテリーパックの温度が高くなっています。少し時間をおいてから、再度ご使用ください。

電源ランプを除く全てのランプが消灯 → 充電中のバッテリーパックを取り外す → 同じバッテリーパックを取り付け

- 電源ランプを除く全てのランプが消灯 → DCコードが差し込まれていませんか。コードを抜いてください。
- 同じバッテリーパックを取り付け → 充電ランプ点灯から完了ランプ点灯に変われば異常ありません。

再び、充電ランプ・完了ランプが共に消灯したとき

別のバッテリーパックを取り付ける

- 電源ランプを除く全てのランプが消灯 → ACパワーアダプターに異常があると思われます。お買い上げ店、又はお近くのサービス窓口にご相談ください。
- 充電ランプが点灯 → 所定の充電時間後に充電完了ランプが点灯すれば、初めのバッテリーパックに異常があると思われます。

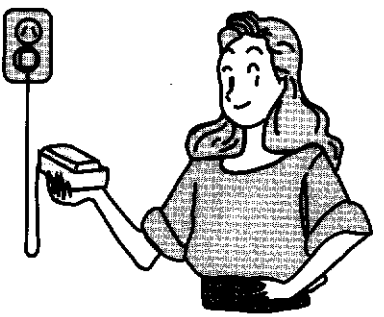
・初めての充電のとき

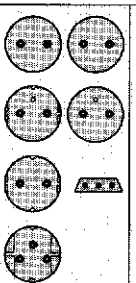
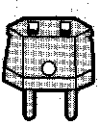
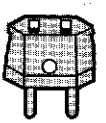
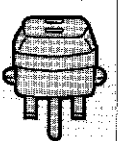
購入直後のバッテリーパックや、長期間放置したものには、最初の充電のときに充電ランプが消灯することがあります。バッテリーパックを取り外し、もう一度充電してください。充電後、充電完了ランプが点灯したら、そのバッテリーパックは正常です。

海外でお使いになるには

外国で使うとき、電源は？？

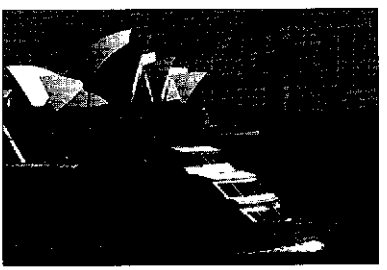
ACパワーアダプターAA-V11は海外で使用可能なAC100～240V（ボルト）、50/60Hz（ヘルツ）の電源でお使いいただけます。
また、バッテリーの充電／リフレッシュもできます。
ただし、国によってコンセントの形状が異なりますので、使用先の国のコンセントに合った変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店におたずねのうえ、ご用意ください。くわしくはビクターサービス窓口にご相談ください。



海外の電源コンセントの種類							
	コンセントの形状例						
	使用する変換アダプター	不要です。ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。 主に北米・南米などの場合	 主にオーストラリアなどで使います。	 主にヨーロッパなどで使います。			

日本と同じNTSC方式の国です

- ●ボリビア
- ●グァテマラ
- ●コスタリカ
- ●コロンビア
- ●スリナム
- ●ハイチ
- ●パナマ
- ●バハマ
- ●バルバドス
- ●ミャンマー
- ●ベトナム
- ●フィリピン
- ●ホンジュラス
- ●ミクロネシア
- ●メキシコ
- ●台湾
- ●アメリカ合衆国
- ●エクアドル
- ●エルサルバドル
- ●カナダ
- ●キューバ
- ●グアム
- ●大韓民国
- ●チリ
- ●ドミニカ
- ●トリニダード・トバゴ
- ●ニカラグア
- ●バミューダ
- ●プエルトリコ
- ●ベネズエラ
- ●ペルー
- ●米領サモア



現地のテレビで見る

NTSC 方式の映像、音声入力端子付きテレビが必要です。

再生できるテープは

日本と同じNTSC 方式で撮影したものです。

海外で万一故障した場合

持ち帰った後、お買い上げ販売店にご相談ください。（外国でのアフターサービスについてはご容赦ください。）

用語の解説

■ 内の数は説明のあるページです。

ア

アニメ撮影 56
人形など、本来動かないものを、少しずつ動かして撮影し、再生するとあたかも動いているように見せることができます。

アフレコ編集 58
撮影済みテープの音だけ後から入れ替えることです。

インサート編集 58
撮影済みテープの一部に別の映像を入れ替えることです。

オートデートタイトラー 49
月／日／年を画面の中央に大きく表示して、録画開始時に約5秒間入れることができます。

オートデートモード 49
月／日／年を、録画開始時に約5秒間入れることができます。

オンスクリーンモード 49
ビューファインダー内の表示をつないでいるテレビの画面に映すことができます。

カ

カウンターメモリー 35
早送り、巻戻しでテープが自動的に止まって便利です。インサートやアフレコ編集のときも使えます。

カセットアダプター 30
ムービーで撮影したテープをVHSビデオデッキで見るときに使うと便利です。

カーバッテリーコード 14
車のシガレットライターソケットを利用して電源を供給するのに使います。

カメラリハーサル 37
停止状態でビューファインダーの映像を見ることができます。構図を決めたり、撮影条件のチェックをするときに便利です。

クイックレビュー 25
撮影一時停止状態で記録されている内容を最後の2秒間再生して正常に撮影されていることを確認するための機能です。

高速シャッター 50
動きの速い被写体でも1コマ1コマ鮮明に撮影することができます。

ハ

バッテリーアラーム 25
バッテリーパックの充電容量が少なくなると点滅します。バッテリーパックの交換時期の目安として使います。

パンニング
ワイドな風景を撮るとき、一定の場所からカメラだけを左右にゆっくりと動かすテクニックのことです。

ピント合わせ 44
このムービーには‘自動’と‘手動’の2つがあります。

ピント検知ゾーン 44
ピントは画面中央で合わせます。

フェードイン／アウト 42
冒頭や場面の変わる部分で使用すると、効果的です。

マ

マクロ 27
小さな被写体を画面いっぱいに撮りたいとき、被写体にグーンと近づいて撮影することができます。

サ

撮影一時停止 25
スタート／ストップボタンを押せば撮影がスタートする状態のことです。

視度調節 21
ビューファインダー内の映像がハッキリ見えるように、視力に合わせて調節することができます。

シーンセレクト 41
映像効果を楽しむために、6つのモードから選ぶことができます。（スポーツ、ポートレート、逆光補正、白とび防止、夜景、モノトーン）

白バランス 46
人間の目では同じ白い紙に見えてもムービーで撮ると、ロウソクで照らされたときと、蛍光灯で照らされたときとでは違う色になります。白バランスを使うと、自然な色に映るようにできます。

シネマモード 43
映画のように上下に黒の帯を入れたシネスコサイズで撮影することができます。

セルフタイマー 51 55
ムービーを固定し、撮影者もいっしょに画面の中に入れます。

タ

タイムラプス撮影 57
一定間隔で、録画スタート・ストップを繰り返します。それによって、動きや表情の変化が楽しめます。

つゆつき 64
ムービーの内部に温度変化などで水滴がつくことです。ビューファインダー内に‘💧’マークが表示されるとムービーは停止状態になります。

トラッキング 33
再生画にノイズが出ることがありますが、これはビデオヘッドが記録された部分を正確になぞってないためです。これを補正するのがトラッキング調節です。

トラベルデート 19
海外旅行など数日にわたる撮影でも、一目で撮影日と何日目かがわかります。

ラ

リチウム（時計用）電池 17
日付、時刻、年齢・トラベルデートの表示に必要な電池です。

リテイク 28
撮影一時停止中に、正／逆転再生して再び撮影を始めたいところを探すのに便利です。

リフレッシュ機能 10
バッテリーパックの容量を回復させる機能です。ACパワーアダプターや一部のバッテリーパックにこの機能が付いています。

アルファベット

ACパワーアダプター 10 13
バッテリーパックを充電するときに使います。また直接ムービーにつないで電源を供給することができます。

SP / EP 22
テープに撮影できる時間を示すものでEPは、SPの3倍の長さです。

VISS書き込み 60
インデックスコードを書き込めば、あとでインデックスコード機能の付いたビデオデッキで頭だしするとき簡単です。

主な仕様

ビデオムービー

電源	：DC6V
消費電力	：6W
信号方式	：NTSC日米標準信号
録画方式	：VHS 規格
使用テープ	：S-VHSマークのついたカセットテープ
テープ速度 (SP)	：33.4mm/秒
(EP)	：11.1mm/秒
録画時間 (SP)	：約30分 (TC-30使用時)
(EP)	：約90分 (TC-30使用時)
早送り・巻き戻し時間	：約8分(高速時約3分) (TC-30使用時)
撮像素子	：1/3インチCCD
レンズ	：10倍ズーム f=6～60mm F=1.8 オートフォーカス付／ フィルター径43φ
ビューファインダー	：0.6 型白黒電子ビューファインダー
最低照度	：4LUX
シャッタースピード	：1/60，1/100，1/250，1/500， 1/1000，1/2000，1/4000， 1/8000
白バランス調整	：自動/手動9段階
アイリス	：自動
画像出力	：1Vp-p(75Ω不平衡)
音声出力	：-6dBs(Low)
許容動作温度／相対湿度	：0℃～+40℃/35%～80%
許容保存温度	：-20℃～+50℃
外形寸法	：(幅)111X(高さ)120X(奥行き)184mm
重量	：撮影時総重量920g （バッテリーパックBN-V12 カセットテープTC-30他含む） 本体約700g
付属品	：ACパワーアダプター (AA-V11)×1 AV出力ケーブル×1 リチウム電池(CR2025)×1 ショルダーストラップ×1 バッテリーパック(BN-V12)×1

ACパワーアダプター(AA-V11)

電源	：AC100～240V 50/60Hz
入力容量	：26VA(100V充電時) 29VA(100V VTR 32VA(240V充電時) 37VA(240V VTR
出力	：DC8.5V 1.3A(充電時) DC6.3V 1.8A(VTR電源供給時)
許容動作温度	：0℃～+40℃(充電時は10℃～35℃
外形寸法	：(幅)150×(高さ)42×(奥行き)68m
重量	：約340g

バッテリーパックについて

充電／リフレッシュ時間

バッテリーパック	充電時間	リフレッシュ時間
BN-V12	約1時間10分	約3時間30分
BN-V14	約1時間20分	約4時間30分
BN-V22	約2時間10分	約7時間
BN-V50	約2時間50分	約8時間30分
BN-V60	約2時間10分	約7時間

連続撮影時間

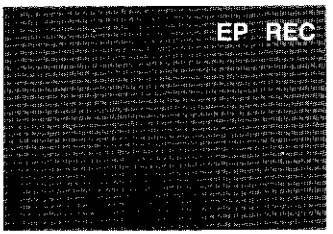
バッテリーパック	ライト消灯時	ライト点灯時
BN-V12	約 60分	約 40分
BN-V14	約 75分	約 45分
BN-V22	約130分	約 80分
BN-V50	約160分	約100分
BN-V60	約130分	約 80分

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

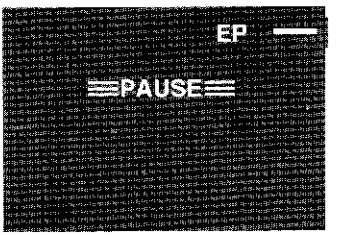
ビューファインダーの表示

撮影中などの表示

撮影中

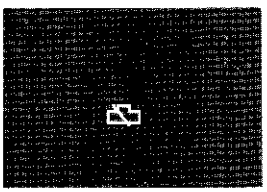


撮影一時停止

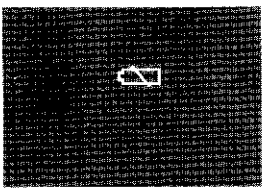


ＳＰ：高画質モードで撮影
ＥＰ：長時間モードで撮影したとき表示します。

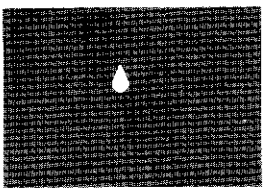
警告表示



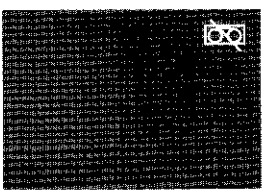
リチウム電池（時計用）表示（ 17 ページ）
電池が入っていないか容量が少なくなっています。



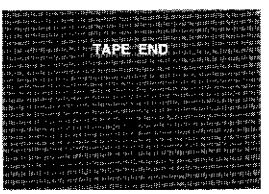
バッテリーアラーム表示
（ 25 ページ）
バッテリーパックの充電容量が少なくなっています。



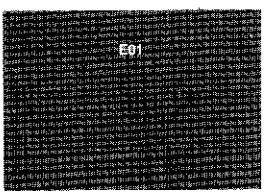
つゆつき
（ 64 ページ）
つゆつきが発生しています。



テープ表示
テープが入っていないか、ツメなしテープで撮影ができません。

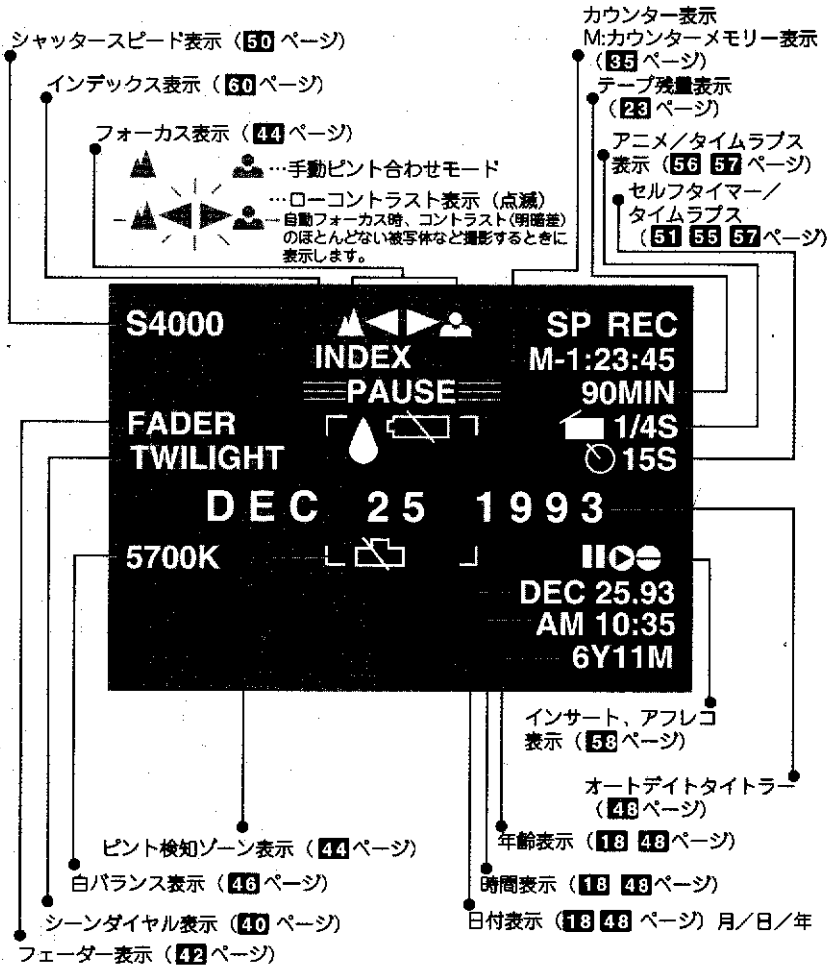


テープおわり表示
（ 23 ページ）
録画中テープがおわると表示します。



異常警告表示
（ 68 ページ）

ビューファインダーの表示つづき



お客様ご相談センター

東京…☎（03）5684-9311（代表）
〒113 東京都文京区本郷3丁目14-7　ビクター本郷ビル

大阪…☎（06）765-4161（代表）
〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16　大阪ビクタービル

Victor JVC
日本ビクター株式会社
ビデオ事業本部

〒221　横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地　電話（045）453-1111（代表）

YU30071-102-1 (VPEH